

Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO

v1.0

## ジョブ管理ガイド

LP-8800C 対応



Copyright 2001 年 Electronics For Imaging, Inc. All rights reserved.

本書は著作権により保護されており、著作権に関わる全ての権利が留保されています。Electronics For Imaging, Inc.の書面による承諾がない場合は、本 書で許可が明示してある場合を除き、目的、手段を問わず本書のいかなる部分も、その複写や伝達を禁じます。本書の内容は予告なしに変更するこ とがあります。また、Electronics For Imaging, Inc. はその内容についての責任を表明するものではありません。

本書で説明するソフトウェアは使用許可にもとづいて提供され、使用許可条件に従って使用または複製する場合に限り許可されるものとします。

Patents: 5,867,179; 5,835,788; 5,666,436; 5,553,200; 5,543,940; 5,537,516;5,517,334; 5,506,946; 5,424,754; 5,343,311; 5,212,546; 4,941,038; 4,837,722; 4,500,919; D406,117

#### 商標

EFI、EFI ロゴ、Fiery、Fiery ロゴ、Fiery Driven、Fiery Driven ロゴ、EFICOLOR、ColorWise、Rip-While-Print は Electronics For Imaging, Inc. の米国での 登録商標です。Fiery Spark、Command WorkStation、AutoCal、Starr Compression、Memory Multiplier、NetWise、VisualCal はいずれも Electronics For Imaging, Inc. の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe IIIustrator、PostScript、Adobe Photoshop、Adobe PageMaker は Adobe Systems Incorporated の商標であり、一部管轄地域では 登録されています。Apple、Appleロゴ、AppleShare、AppleTalk、EtherTalk、LaserWriter、Macintosh は Apple Computer, Inc. の登録商標です。Microsoft、 MS、MS-DOS、Windows は米国およびその他諸国における Microsoft の登録商標です。

その他の用語や製品名は各社の商標や登録商標である場合があり、本書により承諾されています。

#### 法律上の注意

Apple Computer, Inc.(以下 Apple 社)は、Apple ソフトウェアに関して、特定の目的に関する商品性や適合性についての黙示的保証を含み、明示的、 黙示的を問わず何らの保証もしません。Apple 社は、Apple ソフトウェアの使用あるいは使用結果の正確さ、精度、信頼性、最新性、その他の保証を しません。Apple ソフトウェアの結果や性能に伴うリスクはすべてお客様の負担とさせていただきます。黙示的保証の適用除外は米国の州によって認 められない場合があります。お客様にはこのような適用除外条項は適用されないこともあります。

Apple 社の役員、管理職、一般社員、代理人は、Apple 社のソフトウェアを使用した結果や使用できないことによって、お客様に、結果的、付随的、 あるいは間接的な損害(業務上の利益の損失、業務の中断、業務情報の損失、その他の損害)が引き起こされた場合、仮にそのような損害の可能性 について Apple 社が知らされていたとしても、それに対する責任は負いません。米国の州によっては結果的または付随的損害の責任の適用除外や制 限が認められない場合があり、その場合は、上記の制限条項がお客様に適用されないこともあります。

いかなる原因であれ、実際の損害についてのお客様に対する Apple 社の責任は、行為の形態に関係なく(契約違反、不法行為(過失など)、製造物責任、その他)50ドルを上限とします。

限定権利条項(米国においてのみ適用)

防衛機関の場合:限定権利条項。使用、複写、開示は252.227.7013の技術データとコンピュータソフトウェアの条文の補助条項 (c)(1)(ii)に規定した 限定内容に従うものとします。

民間機関の場合:限定権利条項。使用、複写、開示は 52.227-19 の商業コンピュータソフトウェア限定権利の条文の補助条項 (a) から (d) に規定した 限定内容、および本ソフトウェアに関する Electronics For Imaging, Inc. の基準商業契約に規定した限定内容に従うものとします。文書に記載されてい ない権利は、合衆国の著作権法にもとづいて留保します。

アメリカ合衆国印刷 再生紙印刷

Part Number : 45026244

ソフトウェア使用許諾契約

本ソフトウェアをご使用になる前に必ず以下の使用許諾契約をお読みください。本ソフトウェアをご使用になった場合は、本使用許諾のすべての条 項に従うべき義務を負うことになります。これらの条項の受諾あるいは同意ができない場合は、10日以内にお買上げ販売店に本製品とその全同梱物 を返却して全額払戻しを受けることができます。

EFI は、お買上げいただいた Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO(以下 Fiery Spark Pro)に同梱されている Adobe Systems Incorporated の PostScript<sup>®</sup> ソフトウェアなどのソフトウェアおよび付属の文書(以上まとめて「ソフトウェア」という)について、以下の条項に基づいて非独占的、 譲渡不可の使用を認めます。

以下の内容がお客様に認められています。

a. 本ソフトウェアは、お客様自身の日常業務のため、並びに Fiery Spark Pro においてのみ使用できます。

b. お客様自身の日常業務においてのみ、EFIFiery (R)に同梱の特別なコードフォーマット(以下「コード化フォントプログラム」という)によりデジ タルコード化された機械語によるアウトラインプログラムとビットマッププログラム(以下「フォントプログラム」という)を使用して、文字、数 字、記号(以下「書体」という)の設計、書体、ウェイト、バージョンを再生表示できます。

c.ソフトウェアから再生されるコード化フォントプログラムと書体を表示するために、EFIの商標(以下「商標」という)を使用できます。

d. 承継人が本使用許諾の全ての条項に従うことに合意するかぎり、本使用許諾に基づくお客様の Fiery Spark Pro に関する全権利を承継人に譲渡する ことができます。

以下の内容はお客様には認められていません。

a. プリント解像度 600 dpi 以上で直接または間接的なあらゆるコピーの作成をするため、あるいは Fiery Spark Pro 以外で使用するためにフォントや書体を生成する目的でソフトウェアを利用すること。

b. お買上げいただいた Fiery Spark Pro ユニットの使用に必要な場合を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラム、付属の文書、あるいはそれらの一部の直接または間接的なあらゆるコピーを作成すること、あるいはそれを許可すること。ただし、Fiery Spark Pro のハードディスクドライプ に組み込まれたソフトウェアの特定箇所については、全体一部を問わず、直接または間接的なあらゆるコピーの作成を行うこと、あるいはそれを許可することはいかなる場合も認められません。その文書のコピーを作成することも認められません。

c. ソフトウェア、コード化フォントプログラム、あるいは付属の文書を変更、逆アセンブル、解読、あるいはリバースエンジニアリングすること。

d. ソフトウェアをレンタル、あるいはリースすること。

#### 所有権

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、付属の文書については、EFIとその供給元が持つものとし権利やその他知的所有権は EFI とその供給元が保有します。上記で認められた権利を除いて、本使用許諾ではソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、付属の文 書に関する特許権、著作権、営業秘密(登録、未登録を問わず)商標、その他権利、フランチャイズ、ライセンスを認めません。EFI、あるいはそ の供給元の商標や商号と類似した、あるいは混同を生じさせるような商標や商号を創作したり使用すること、あるいはEFIやその供給元の商標権を 損なうような行為をすることを禁じます。商標はコード化フォントプログラムのプリント出力を識別する目的にだけ使用できます。EFI から妥当と考 えられる要求があった場合、お客様は商標で識別された書体の見本を提供するものとします。

#### 守秘義務

お客様は、ソフトウェアとコード化フォントプログラムの秘密を守り、ソフトウェアとコード化フォントプログラムを使用する必要があると本使用 許諾で認められたお客様だけにソフトウェアとコード化フォントプログラムを開示するものとします。またお客様は第三者に対する開示を防ぐため、 妥当と考えられる全ての予防措置を講ずるものとします。

#### 救償

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、書体、商標、付属の文書を許可なしで使用、コピー、開示すると、本使用許可は自動的に中止され、 EFI に対しては他の法律上の救済が適用可能となります。

#### 限定保証

本ソフトウェアがお客様に頒布されてから 90 日間は、通常の使用形態の下では本ソフトウェアは使用不可能になるほどの致命的な異常なしに動作す ることを EFI は保証します。この保証の下で EFI の責任およびお客様に対する救済を行使するため(お客様が Fiery Spark Pro を EFI または EFI の正 規の代理店に返却することを前提として) EFI の選択により、異常を回復しまたは正常化を目指して妥当と考えられる商業的努力を尽くすか、本ソフ トウェアを同等の機能を有するソフトウェアと交換するか、あるいはお客様が製品に支払った代価を払い戻し本使用許諾を中止させます。米国の州 によっては黙示的保証の期間に関する限定を認めない所があり、その場合は上記の限定は適用されません。

上記の明示的限定保証を除き、製品について明示的、黙示的、あるいは法令にもとづく保証または条件をも EFI は設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特定目的に関する商品性や適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。

保証サービスについては正規のサービス店またはサポートセンターにお問い合わせください。

上記の明示的限定保証を除き、ソフトウェア、コード化フォントプログラムについて、明示的、黙示的、法令または本使用許諾によって定められた いかなる条項、あるいはお客様との話し合いにもとづく保証または条件をも EFI は設定せず、かつお客様はそれを受けることができません。特に特 定目的に関する商品性や適合性について、いかなる黙示的保証や条件も放棄します。EFIはソフトウェアが停止せずに動作すること、異常が存在しな いこと、あるいはソフトウェアがお客様の特定の要件に適合することについては、これを保証しません。

#### 限定責任

ソフトウェア、コード化フォントプログラム、付属の文書の使用によって引き起こされるデータ損失、利益損失、回復費用、その他特別な、付随的、 結果的、あるいは間接的損害をはじめとするあらゆる損害について、それがどのような事由によって引き起こされたものであり、あるいはどのよう な事由に基づいていようと EFI または その供給元は責任を負いません。この限定条項は EFI やすべての正規販売店が、そのような損害の可能性を知 らされていた場合にも適用されます。Fiery Spark Proの価格はこのリスク配分を反映したものであることに同意するものとします。但し、米国の州や 司法管轄区域によっては結果的、あるいは付随的責任の適用除外や限定を認めない所があり、その場合は上記の限定は適用されないことがあります。

#### 輸出管理

お客様はいかなる形態であれ、アメリカ合衆国と当該国政府の許可なしにソフトウェアやコード化フォントプログラムを輸出、再輸出しないことに 同意するものとします。本条項に従わない場合は、本使用許諾の実質的な違反となります。

#### 政府による使用

アメリカ合衆国政府による使用、複製、開示は DFARS 252.227.7013 の「Rights in Technical Data and Computer Software (技術データとコンピュータソ フトウェアにおける権利)」条項の補助条項 (c)(1)(ii)、あるいは CFR 52.227-19 の「Commercial Computer Software--Restricted Right (商業用コン ピュータソフトウェア 限定権利)」条項の補助条項(c)(1)と(2)に規定した限定内容が適用できる場合、それらに従うものとします。

#### 第三者受益者

カリフォルニア法人 Adobe Systems Incorporated (以下 Adobe 社)(住所:345 Park Avenue, San Jose, California 94110-2704)は、本使用許諾によって使用許諾が得られるフォント、コード化フォントプログラム、書体、商標などのユーザ使用に関して本使用許諾に規定される条項の範囲で、本使用許諾における第三者受益者であることをここに通知します。以上の条項は Adobe 社の利益のために明示的に設定されたものであり、EFI に加え Adobe 社がこれを行使することができます。

#### 一般条項

本使用許諾はカリフォルニア州法に準拠します。

本使用許諾はお客様とEFI との全面的合意を表したものであり、本ソフトウェア、コード化フォントプログラム、付属の文書に関するその他の通知 や広告に代わるものとします。

本使用許諾の一部の条項が無効になった場合でも、本使用許諾のそれ以外の部分は効力を有します。

お問い合わせの場合は、下記の住所まで書面にてご連絡ください。

Electronics For Imaging 303 Velocity Way Foster City, CA 94404



## はじめに

本書について	xii
用語	xiii
Fiery Spark Pro ジョブ環境	xiii
アクセス特権	
本書で使用する約束事について	XV

第1章: Fiery バー

Fiery バーについて	1-1
状況	1-2
作動ランプ	1-2
コマンド	1-3

## 第2章: Command WorkStationの紹介

Command WorkStation について	2-1
 起動とログイン	2-4
Fiery Spark Pro サーバへの接続	2-4
ログイン	2-5
ログアウト	2-7
Command WorkStation のインターフェイス	2-7
ウィンドウ(キュー、アーカイブ、ジョブログ)	2-8
メニューバー	2-9
サーバ選択用タブ	2-12
スライダー	2-13
ジョブチケット情報	2-15
ウィンドウ選択用タブ	2-15

「キュー」ウィンドウ	2-16
状況バー	2-17
ジョブアイコン	2-20
スプールエリア	2-20
RIPエリア	2-22
印刷エリア	2-23
ジョブコマンド	2-24
「アーカイブ」ウィンドウ	2-27
「ジョブログ」ウィンドウ	2-30
 ジョブの表示範囲指定	2-32
ジョブのプロパティ	2-35
ジョブプロパティの表示と編集	2-35
ジョブの表示と編集	2-36
サムネイルを使用したジョブの編集とマージ	2-37

# 第3章:印刷ジョブの管理

ユーザとのコミュニケーション	3-1
ユーザが必要な情報	3-1
ユーザが印刷要件を通知する方法	3-3
Command WorkStation ウィンドウのカスタマイズ	3-3
Command WorkStation 環境設定	3-4
Fiery Spark Pro サーバ情報ページの印刷	3-5
ワークフロー例	3-7
ジョブの取消し	3-9
 ジョブの表示	3-10
RIP 中ジョブの表示	3-10
サムネイル機能を使用したラスターデータジョブの編集とマージ	3-12
	3-19

	3-22
Fiery Spark Pro 提供フォントの管理	3-26
複数 Fiery Spark Pro サーバを使用したジョブ管理	3-27
ジョブのアーカイブ	3-29
外部デバイスからのアーカイブジョブのインポート	3-31
ジョブログの使用方法	3-32
サーバ管理コマンド	3-34

# 第4章: Fiery WebToolsの概要

Fiery WebTools	4-1
アクセス権	4-2
 Fiery WebTools の使用方法	4-2

# 第5章: Fiery WebSpoolerとFiery Spooler

ジョブ表示と管理	5-2
ジョブリストの表示	5-5
ジョブオプションとジョブフローの操作	5-6
プリント設定の書き換え	5-9
サムネイル表示と編集フルスクリーンプレビュー	5-10
「ジョブログ」の使用方法	5-11
Fiery WebSpooler と Mac OS 用 Fiery Spooler の相違点	5-15

# 付録A: トラブルシューティング

エラーメッセージ	A-1
 最適システムパフォーマンスの維持	A-2
トラブルシューティング	A-3
Command WorkStation がハングアップする	A-3
Command WorkStation から Fiery Spark Pro サーバ に接続できない	A-4
予期しない印刷結果	A-5
サーバの初期化	A-6
ユーザがプリントデバイスに接続できない	A-6
Fiery 設定エラーメッセージ	A-7

索引

## はじめに

本書は、印刷ジョブフローの監視 / 管理やトラブルシューティングを行う、Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO のシステム管理者 / オペレータおよび同レベ ルのアクセス特権を持つユーザ用に書かれています。本書では、ユーティリティや Fiery WebTools<sup>™</sup>の機能、およびこれらを使用してジョブ管理やカラーの品質保持を 行う方法について説明します。

Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO は、Command WorkStation<sup>™</sup> を提供しま す。オペレータは Command WorkStation を使用して、Fiery Spark Professional PS ソ フトリップ PRO に送信されるすべての印刷ジョブを管理できます。Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO のすべての使用状況に当てはまらないかもしれま せんが、本書では、リモートワークステーションからユーザが送信する印刷ジョブ をオペレータが制御 / 管理することを前提として記述しています。

本書では以後、Fiery Spark Professional PS ソフトリップ PRO を Fiery Spark Pro と表記します。

Fiery Spark Pro のシステムソフトウェアはWindows 2000 コンピュータのみで動作します。本書では以後、Fiery Spark Pro をインストールした Windows 2000 コンピュータのことを Fiery Spark Pro サーバと表記します。

Fiery Spark Pro は LP-8800C をサポートします。本書内の「プリンタ」は LP-8800C を意味します。

xii はじめに

## 本書について

本書は以下の章から構成されています。

- 第1章 Fiery バー<sup>™</sup>のインターフェイスおよびコマンドについて説明します。
- 第2章および第3章 Command WorkStationの使用方法について説明します。 Command WorkStation はネットワーク上の Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 対応コ ンピュータにインストールして使用できます。このソフトウェアにより Fiery Spark Pro の稼働状況をほとんどすべて把握 / 管理できます。たとえば、ジョブフ ローのグラフィック表示、ジョブの再印刷やホールド、プリント設定の書き換 え、ファイルのダウンロード、プリンタフォントの管理、印刷ジョブのプレ ビュー、ラスタージョブのマージ、Fierv Spark Pro キャリブレーションなどが可 能です。Command WorkStation を使用すると、ジョブのアーカイブ、複数 Fiery Spark Pro サーバ間でのジョブの移動も可能です。
- 第4章 Fiery WebTools へのアクセス方法と、その詳細情報の参照先について説 明します。
- 第5章 Fiery WebSpooler / Fiery Spooler について説明します。Fiery WebSpooler / Fiery SpoolerはFiery Spark Proジョブの表示や管理に使用します。Fiery WebSpooler / Fiery Spooler の使用方法や機能は Command WorkStation のものとほとんど同じ なので、大部分の詳細情報に関しては第2章と第3章を参照するようになってい ます。
- 付録 A Fiery バー、Command WorkStation、または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler 上に表示されるエラーメッセージについて説明します。トラブルシューティング 情報についても説明します。

### 用語

特殊用語はそのつど説明しますが、Fiery Spark Pro システムで一般的に使用される 用語をここで説明します。

- PostScript (PS) ページ記述言語として設計されたコンピュータ言語です。
  Fiery Spark Pro はこの言語を使用してページの画像を作成したり、アプリケーションやプリントエンジンと通信します。
- ジョブ PostScript 言語で記述されているファイルです。書類上のグラフィック / テキストなどの情報、および用紙の種類 / カラーの表現などの印刷時に使用され るプリントオプション情報が、コマンドやコメントとして記述されています。このファイルには、EPS ファイルおよび PDF ファイルも含まれます。
- スプール ディスクに書き出すことです。Fiery Spark Pro システムでは、処理 / 印 刷前に Fiery Spark Pro ハードディスクに印刷ジョブ (PostScript または PDF 形式) を保存するときにこの用語を使用します。
- RIP ラスターイメージ処理(Raster Image Processing)の略語です。ラスター処理によりテキストやグラフィック用コマンドがページ上のイメージに変換されます。RIP はラスターイメージプロセッサ(Raster Image Processor)の略語でもあります。この場合は、ラスター処理を施すコンピュータプロセッサを意味します。
- 印刷 / プリント プリンタでページを描画する過程を意味します。

Fiery Spark Pro とプリンタは両方の機能を合わせて、強力なプリントシステムとして作動します。Fiery Spark Pro の RIP 処理により PostScript 内のテキストやグラフィックコマンドがトナーの各ドットのカラー指定値に変換され、トナーがプリンタによりページ上に定着されます。

## Fiery Spark Pro ジョブ環境

Fiery Spark Pro は、印刷、ジョブ管理、設定に関して複数レベルのコントロール方 法を提供しています。また、環境に合ったシステム構成が選択できるような柔軟性 を備えています。使用環境が次のような例の場合もあれば、その中間レベルの場合 もありえます。 極端な例としては、多量印刷環境下でオペレータがジョブフローや印刷を完全にコ ントロールする場合があります。リモートユーザから送られた印刷ジョブは、オペ レータが次の工程に移すまで、Fiery Spark Pro サーバのハードディスクにスプール (格納)されます。オペレータは追加機能(ジョブプリントオプションの書き換え、 優先順位付け、フォント管理)を使用できます。

逆の極端な例としては、ローカルネットワーク上の全ユーザが、すべての印刷ジョ ブや Fiery Spark Pro 機能をコントロールする場合があります。この場合はオペレー タの介入はありません。「プリンタ設定」で直接接続または印刷キューが使用可能 に設定されている場合、ユーザはワークステーションから直接接続 / 印刷キュー / 待機キューに任意に印刷できます。誰でも Command WorkStation や Fiery WebSpooler / Fiery Spooler にログインしてすべての印刷ジョブをコントロールでき ます。

システム管理者のコントロール権限に関しては、『設定管理ガイド』を参照してください。

### アクセス特権

システム管理者およびオペレータ用パスワードを設定することにより、リモート ワークステーションからのシステム管理者およびオペレータ用機能へのアクセスを 制限することができます (『設定管理ガイド』参照)。

Fiery Spark Pro では3種類のセキュリティレベルが用意されています。

- システム管理者 Fiery設定が行える最高のコントロールレベルです。Fiery設定で プリント接続(直接接続、印刷キュー、待機キュー)を使用可能にしたり、パス ワードを設定することにより、印刷やジョブ管理をコントロールできます。シス テム管理者はまた、Fiery Spark Proサーバ内蔵フォントの管理やキャリブレーショ ンを行ったり、必要に応じてサーバの初期化を行えます。Web ブラウザを使用し て Fiery Spark Proサーバにログインするユーザ用にデフォルト Web リンクを指定 することもできます。
- オペレータ Fiery Spark Pro サーバが受け取った印刷ジョブのコントロールおよび Fiery Spark Pro サーバの再起動が行えます。

ゲスト - 印刷処理中のジョブの状況や Fiery Spark Pro サーバにスプールされているジョブを表示できます。ジョブやジョブのプリント設定を変更することはできません。Command WorkStation や Fiery WebSpooler / Fiery Spooler に「ゲスト」としてログインする場合は、パスワードは必要ありません。

本書では Command WorkStation など Fiery ユーティリティが有する機能および、す べてのオペレータ特権について記述します。ここでの記述は、オペレータ特権を全 員が取得できる場合でも、特定の担当者だけに与えられる場合でも当てはまります。 またシステム管理者機能やその詳細情報の参照先についても説明します。

## 本書で使用する約束事について

- 画面表示のサーバ名は「Astro\_デバイス名」と表記します。
- Fiery Spark Pro の取扱説明書名は『』内に表記します。
- Fiery 設定とは Fiery Spark Pro システムソフトウェアの「Fiery サーバ設定」画面での設定を意味します(『設定管理ガイド』参照)。
- サブフォルダの表記方法

Windows

たとえば「Folder1」フォルダ内の「Folder2」フォルダ内の「Application」フォル ダ内にある「Setup.exe」アイコンをダブルクリックする場合、

「¥Folder1¥Folder2¥Application」フォルダ内の「Setup.exe」アイコンをダブルク リックします。

と表記します。

Mac OS

たとえば「フォルダ 1」フォルダ内の「フォルダ 2」フォルダ内の「フォルダ 3」 フォルダを開く場合、

「フォルダ1:フォルダ2:フォルダ3」フォルダを開きます。

と表記します。

xvi はじめに

• サブ画面の表記方法

たとえば Windows 95/98/Me の「スタート」ボタンをクリックして「設定」の「プリンタ」を選ぶ場合、

例:Windows 95/98/Meの「スタート」ボタンをクリックし、「設定:プリンタ」を 選びます。

と表記します。



• タブ画面の表記方法

たとえば、次の画面で、「メニュー1」を選んで、「タブ3」のタブを選ぶ場合、 「メニュー1:タブ3」を選びます。

と表記します。



## **第**1章: Fiery **バー**

Fiery バーを使用することにより、Fiery Spark Pro サーバ状況の確認、ソフトウェアの起動、Fiery 設定、Fiery Spark Pro サーバの終了、アクティブジョブの処理キャンセルなどを実行できます。Fiery バー機能のうち、ほとんどの機能は Command WorkStation でも実行可能ですが、Fiery バーを使用すると Command WorkStation が 作動していない状態でも、Fiery バーで上記の機能を実行できます。

# Fiery バーについて

Fiery バーは Fiery Spark サーバのモニタ画面上部に表示されます。Fiery バーは次の 構成要素から成ります。



## 状況

Fiery バーは以下の Fiery Spark Pro サーバ状況 情報を表示します。

RIP 中エリア	RIP 中ジョブのジョブ名を表示します。
RIP 状況エリア	RIP 中ジョブのファイルサイズを表示します。
印刷中エリア	印刷中ジョブのジョブ名を表示します。
メッセージエリア	エラーメッセージおよびその他の Fiery Spark Pro サーバ 情報を表示します。

## 作動ランプ

Fiery バー右端の作動ランプは、Fiery Spark Pro サーバの作動状況を表示します。

赤点灯	Fiery Spark Pro サーバに不具合が生じました。メッセージエ リアでエラー内容を確認してください。
赤点滅	Fiery Spark Pro サーバがプレスキャン中、または Fiery Spark Pro サーバにエラー発生の状態です。RIP は継続可能です。
緑点灯	Fiery Spark Pro サーバは使用可能です。
緑点滅	Fiery Spark Pro サーバは起動準備中、ジョブの処理/印刷 中、リモートワークステーションと通信中、または印刷準 備中です。

## コマンド

Fiery バーの任意の場所、または Windows タスクバー右部の Fiery アイコンを右ク リックすることにより、次の機能を実行できます。

Command WorkStation	Command WorkStation を起動します。このコマンドは、 Command WorkStation を Fiery Spark Pro サーバにインス トールすると使用可能になります。Command WorkStation に関する詳細は、第2章および第3章を参照してください。
ColorWise Pro Tools	ColorWise Pro Tools を起動します。このコマンドは、 Command WorkStation を Fiery Spark Pro サーバにインス トールすると使用可能になります。ColorWise Pro Tools を 単体でインストールしても、使用可能にはなりません。 ColorWise Pro Tools に関する詳細は、『カラーガイド』を 参照してください。
	注意:Command WorkStation をインストールすると、 ColorWise Pro Tools も同時にインストールされます。
Fiery 設定	「Fiery サーバ設定」ダイアログボックスを開きます。Fiery 設定に関する詳細は、『設定管理ガイド』を参照してくだ さい。
サーバの初期化	Fiery Spark Pro サーバハードディスク内の、すべての キュー内のジョブ、アーカイブ済みジョブ、そのインデッ クス(「アーカイブウィンドウ」内)、およびジョブログ を削除します。サーバの初期化を行う前に、システム管 理者またはオペレータの許可を得てください。このコマ ンドを選択すると、続行確認用の警告メッセージが表示 されます。サーバを初期化し再起動する場合は、「OK」 をクリックします。
RIP 取消し	Fiery Spark Pro サーバで RIP 中ジョブの RIP 処理を取消 します。
印刷取消し	Fiery Spark Pro サーバで印刷中ジョブの印刷処理を取消 します。

Fiery 終了	Fiery Spark Pro サーバのすべての作動を適切に終了 します。
バージョン情報	Fiery Spark のバージョン情報を表示します。
Fiery バーを隠す	Fiery バーを非表示にします。Fiery バーを再表示するには、Windows タスクバー右部の Fiery アイコンを右クリックし、「Fiery バーを表示」を選択します。

## 第2章: Command WorkStation の紹介

本章では Command WorkStation の GUI (Graphical User Interface) について紹介しま す。Command WorkStation にログインするには、まず、ユーザレベルを選択し、Fiery Spark Pro サーバに接続します。一旦 Command WorkStation にログインすると、そこ に表示されるウィンドウ内を自由に探索できます。ジョブを Fiery Spark Pro サーバ に送ったり、ホールドすることにより、Command WorkStation のさまざまな機能や 使用方法を確認できます。

第3章は本章の続きで、ジョブの監視やコントロール方法について説明します。

## Command WorkStation について

Command WorkStation は Fiery Spark Pro サーバやプリンタの機能にアクセスするためのインターフェイスを提供します。Command WorkStation は、Fiery Spark Pro サーバに TCP/IPネットワーク接続している Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 上で稼働します。

デフォルトでは Fiery Spark Pro サーバにはパスワードは設定されていません。Fiery 設定でシステム管理者用パスワードがセットされない限り、パスワードなしで Command WorkStation にシステム管理者としてログインし、すべての機能を使用で きます。 Command WorkStation には以下の機能があります。

- 現在印刷中のジョブや Fiery Spark Pro サーバハードディスクに格納されている ジョブの表示
- 印刷ジョブの管理
- 内蔵フォントの管理、Fiery Spark Pro サーバのキャリブレーション、Fiery Spark Pro サーバハードディスクのクリア、およびジョブログの削除

Fiery 設定でパスワードがセットされると、Command WorkStation で使用可能な機能 はログインレベルに応じて制限されます。ゲストとして Command WorkStation にロ グインすると、前記のジョブの表示のみが使用可能です。オペレータとしてログイ ンすると、ジョブの表示 / 管理操作が使用可能です。システム管理者としてログイ ンすると全機能が使用可能になります。Fiery 設定およびパスワードに関する詳細 は、『設定管理ガイド』を参照してください。

Fiery Spark Pro サーバに接続しログインすると、Command WorkStation 画面では「キュー」ウィンドウが表示されます(画面下部のタブ参照)。このウィンドウは「ス プール」、「RIP」、「印刷」の3エリアに分かれています。「キュー」ウィンドウの周 囲にはスライダーボタン、メニューなどが表示されます。

Fiery Spark Pro サーバ が印刷ジョブを受け取ると、「キュー」ウィンドウ上の表示内 容(印刷ジョブ名やその特性)はダイナミックに更新されます。状況バーには各段 階(スプール、RIP、印刷)での処理中のジョブがリアルタイムでアニメーション で表示され、処理が終わるとジョブは別のエリアに移動します。オペレータは完全 なジョブコントロール権限を有しており、各ジョブの行き先および処理時期を決定 します。



「キュー」ウィンドウ上の「スプール」、「RIP」、「印刷」エリアはジョブの印刷段階 を表します。ジョブはまず一番上のレベル(スプール)に到着し、途中でホールド されない限り、一番下の印刷済みレベルまで下りていきます。

- スプール済みジョブ-「スプール」状況バーの下にはスプール済みジョブが表示 されます。これらのジョブは PostScript 形式で、Fiery Spark Pro サーバハードディ スクに格納されています。待機キューに送られた待機ジョブは黄色の背景上に、 印刷キューに送られた RIP 待ちジョブは白色の背景上に表示されます。
- RIP 済みジョブ -「RIP」状況バーの下にはラスター処理(RIP処理)済みで、印刷準備の完了したジョブが表示されます。これらのジョブは順番で印刷を待ちます。RIP 済みジョブを印刷にまわさないで待機ジョブとして待機させておくこともできます。待機ジョブは黄背景上に、印刷待ちのジョブは白背景上に表示されます。
- 印刷済みジョブ 「印刷」状況バーの下には印刷済みのジョブが表示されます。
  これらのジョブは Fiery Spark Pro サーバハードディスク上に格納されます。Fiery
  設定でここに格納されるジョブ数(1~99)を指定します。

このウィンドウ上のジョブを選び、「ジョブ」メニューをクリックするか、ジョブを 右クリックしてコマンドを選択することにより、そのジョブを操作することができ ます。あるいはジョブの行をダブルクリックすることにより、ジョブのプリント設 定の書き換えができます(ただし、パスワードが設定されていてゲストでログイン している場合は、ジョブの表示のみ可能でジョブ操作はできません)本章と次章で Command WorkStation インターフェイスの詳細を説明します。

# 起動とログイン

Command WorkStation を起動するには、Windowsの「スタート」ボタンをクリック し「プログラム: Command WorkStation: Command WorkStation」を選びます。 Command WorkStation へのショートカットを作成した場合は、そのアイコンをダブ ルクリックします。

## Fiery Spark Pro サーバへの接続

前に Command WorkStation を Fiery Spark Pro サーバに接続したことがある場合は、 サーバー覧から Fiery Spark Pro サーバを選ぶよう促されます。

備考: Command WorkStation を初めて Fiery Spark Pro サーバ に接続する場合は、『使用開始ガイド』を参照して接続構成を行ってください。

セレクタ	
使用可能なサーバ プロトコル	
Fiery Spark [TCP/IP]	
	追加
	削服余
0K	キャンセル

Fiery Spark Pro サーバのデバイス名「LP8800C」を選択し、「OK」をクリックしま す。このデバイス名が表示されない場合は、団 をクリックしてツリーを展開してく ださい。

Command WorkStation が Fiery Spark Pro サーバに接続されると、ログインレベルの 選択とログイン用パスワードの入力を促されます(次項参照)。Fiery Spark Pro サー バへの接続に問題が生じた場合は、「付録 A:トラブルシューティング」でエラー メッセージとトラブルシューティング情報を確認してください。

### ログイン

Command WorkStation が Fiery Spark Pro サーバ に接続されると、ログイン / ログア ウト用スライダーが現れ、ログインレベルの選択とログイン用パスワードの入力を 促されます。ログインレベルをクリックすると、それに対応するキーが垂直になり、 他のキーは水平になります。



ログイン / ログアウト用 スライダー

> Fiery Spark Pro サーバにシステム管理者またはオペレータとしてアクセスする場合 は、対応するキーアイコンをクリック後、パスワードを入力し、「ログイン」をク リックするか Enter キーを押してください。ゲストの場合は、「ゲスト」キーアイコ ンをクリック後、「ログイン」をクリックしてください。ゲストとしてログインする 場合は、パスワードは不要です。

> ログインを中止する場合、またはパスワードが不明の場合は「キャンセル」をクリッ クしてください。

適切なパスワードを入力してログインすると、ログイン / ログアウト用スライダー が閉じ、Command WorkStation の全画面が現れます。キーの色がログインレベルを 表します。Fiery Spark Pro サーバが多数の印刷ジョブを扱っている場合は、全部の ジョブを表示するのに時間がかかる場合があります。

ログイン後、ログイン / ログアウト用スライダーを再度開くと、「ログイン」表示が 「ログアウト」表示に変わっています。

### アクセスレベル

Command WorkStation へのログインレベルにはシステム管理者、オペレータおよび ゲストがあります。セキュリティを高めるためには、Fiery 設定でシステム管理者お よびオペレータ用パスワードを設定しておく必要があります(『設定管理ガイド』参 照)。

システム管理者およびオペレータ用パスワードの両方がセットされている場合、ア クセスレベルは次表のようになります。

アクセスレベル	アクセス特権	必要パスワード
システム管理者	Command WorkStation の全機能にアクセス可能。	システム管理者用パ スワード
オペレータ	Fiery Spark Pro サーバハードディスクのクリア( サーバの初期化 )、 ジョブログの削除、フォント管理、およびキャリブレーション以 外の Command WorkStation の機能にアクセス可能。	オペレータ用パス ワード
ゲスト	ジョブ状況の表示が可能。ジョブ操作は不可。	パスワード不要

注意: アクセス特権だけでは印刷ジョブのコントロールは行えません。オペレータ が全印刷ジョブを管理する場合は、システム管理者は全ユーザジョブが待機キュー を使用するように(全ジョブが Fiery Spark Pro サーバ上にスプールされホールドさ れるように)しておく必要があります。このためには Fiery 設定で、「待機キュー」 のみを使用可能にし、「直接接続」と「印刷キュー」を使用しないように設定します (『設定管理ガイド』参照)。

## ログアウト

Fiery Spark Pro サーバからログアウトする方法は2通りあります。

- •「サーバ」メニューで「ログアウト」選択
- ログイン / ログアウト用スライダーを開き (Fiery ロゴ直下のアイコンをクリックし)、「ログアウト」をクリック



# Command WorkStation のインターフェイス

次図は Command WorkStation の表示例です。「キュー」ウィンドウ以外に「アーカ イブ」および「ジョブログ」ウィンドウがあります。底部3のタブをクリックして これらのウィンドウを表示します。1 ~ 4 までは Command WorkStation のすべての ウィンドウで表示され、5 ~ 7 は「キュー」ウィンドウで表示されます。



1.サーバ選択用タブ
 2.スライダーおよびシステム情報
 3.ウィンドウ選択用タブ
 4.ジョブチケット情報
 5-7.キューウィンドウ
 8.サムネイル用タブ

Command WorkStation を使用すると、さまざまな情報や多くの機能に複数の方法(ボ タン / メニュー / ダブルクリック / 右クリックコマンドなど)でアクセスできます。 この強力なインターフェイスにより、印刷工程に柔軟かつ効率的に対処できます。 以下に Command WorkStation の表示内容を説明します。

## ウィンドウ(キュー、アーカイブ、ジョブログ)

ウィンドウには「キュー」(次図)、「アーカイブ」、および「ジョブログ」ウィンド ウがあります。「キュー」ウィンドウは最初に現れるウィンドウです。ここにはス プール中から、処理中、印刷中にいたるジョブがリアルタイムで表示されます。

ジョブ名	利用者	日時		部数	サイズ
⇒10 回 スプ	-n				
tab_13_1_bigrgb.qxd	Marlon Jackson	98/10/20	午後 7:05:50	1	106.62 MB
tab_1_1_rgbeps.qxd	Marlon Jackson	98/10/20	午後 7:04:35	1	16.67 MB
tab_13_1_bigrgb.qxd	Marlon Jackson	98/10/20	午後 3:59:40	1	106.62 MB
tab_1_l_rgbeps.qxd	Marlon Jackson	98/10/20	午後 3:54:41	1	16.67 MB
tab_13_1_bigrgb.qxd	Marlon Jackson	98/10/20	午後 3:43:35	1	106.62 MB
tab_1_1_rgbeps.qxd	Marlon Jackson	98/10/20	午後 3:24:07	1	16.67 MB
RIP					
INTERNETPLUS.PDF	mihokof	98/10/20	午後 2:29:15	1	1.16 MB
1CG.CPSZX80.pdf	ADMIN	98/10/16	午後 4:37:19	1	26.18 MB
F00372.pdf	ADMIN	98/10/16	午後 4:34:41	1	645.83 KB
JMG.CPSZX80_1.pdf	ADMIN	98/10/16	午後 4:12:29	1	17.75 MB
JMG.CPSZX80_2.pdf	ADMIN	98/10/16	午後 4:02:30	1	24.44 MB
License.pdf	ADMIN	98/10/16	午後 4:01:34	1	781.22 KB
😂 🏡 🚺 🖓					
umax.pdf	ADMIN	98/10/22	午後 6:57:29	1	60.71 KB
Utahgear.pdf	ADMIN	98/10/22	午後 6:57:27	1	489.41 KB
Virgpwr.pdf	ADMIN	98/10/22	午後 6:57:26	1	37.83 KB
WebPhone . PDF	ADMIN	98/10/22	午後 6:57:25	1	40.80 KB
Wharton.pdf	ADMIN	98/10/22	午後 6:57:23	1	486.54 KB
Winnt.pdf	ADMIN	98/10/22	午後 6:57:22	1	3.24 KB
Xsample1.pdf	ADMIN	98/10/22	午後 6:57:21	1	8.06 KB
र					7
+ 7-7	17	ジョブロ	5		

各ウィンドウの詳細に関しては次の頁を参照してください。

ウィンドウ	参照頁
キュー	2-16 頁
アーカイブ	2-27 頁
ジョブログ	2-30 頁

### メニューバー

メニューバーには次のメニューがあります。状況により使用できないメニューは薄 く表示され選択できません。メニュー項目にチェックマークが付いている場合は、 その項目を再度選ぶと反対の機能を持つコマンドが選択されます。

Command WorkStation ファイル(E) ジョブ(J) ページ(E) サーバ(S) ウィンドウ(W) ヘルブ(H)

メニュー	選択項目	選択結果
ファイル	環境設定	Command WorkStation の環境設定を行います。
	ページの印刷	設定情報ページ、テストページ、フォント一覧、カラー表、ジョブログ、 アーカイブログ、キューウィンドウジョブリストが印刷できます。
	終了	Fiery Spark Pro との接続を解除し、Command WorkStation を終了し、 Windowsデスクトップ表示に戻ります。

メニュー	選択項目	選択結果
ジョブ(詳細は	削除	選択ジョブ(複数可)を削除します。
2-24 頁 参昭)	複製	スプールまたは、印刷エリアで選択ジョブ(複数可)を複製します。
27	名前変更	選択ジョブの名前を変更します。
	待機	選択ジョブ(複数可)を待機させます。
	RIP と待機	選択ジョブ(複数可)を RIP し、RIP エリアに待機させます。
	印刷	選択ジョブ(複数可)を印刷します。
	印刷と待機	選択ジョブ(複数可)を印刷し、RIP エリアに待機させます。
	次に処理	選択ジョブに第一優先順位を与えます(スプールエリアのアクティブ ジョブのみに有効です)。
	ラスター除去	選択ジョブ(複数可)からラスター情報を削除します。
	プロパティ	選択ジョブ(複数可)のプリント設定を表示/編集し、ジョブを新設定で 印刷します。
	サムネイル A	選択ラスターデータジョブを「サムネイルA」ウィンドウに表示します。 ここではさらにジョブのフルスクリーンプレビュー表示、編集、他のジョ ブのラスターデータとのマージが可能です。 注意:フルスクリーンプレビュー表示/編集/マージ対象のラスターデー タは待機ジョブに限ります。
	サムネイル B	選択ジョブを「サムネイル B」ウィンドウに表示します。このジョブの ページを「サムネイル A」内のジョブに挿入できます。 注意:マージソース用ラスターデータは待機ジョブに限ります。
	ダウンロード	Fiery Downloader を使用して Fiery Spark Pro サーバにファイルおよび欧文 フォントをダウンロードします。
	アーカイブ	選択ジョブ(複数可)をアーカイブします。
	インポート	外部デバイスからジョブ(複数可)を取り込みます。このコマンドはス プール状況バーを右クリックしても選択できます。
	< サーバ > に 送信	選択ジョブ(複数可)を他の接続済み Fiery Spark Pro サーバ に転送します。

メニュー	選択項目	選択結果
ページ	削除	選択ページ(複数可)を削除します。
「サムネイル A 」    田 )	複製	選択ページ(複数可)を複製します。
///	プレビュー	選択ページのフルスクリーンプレビューを表示します。
	元に戻す	直前のページメニューコマンドの操作を取消します(複数回可)
サーバ	RIP の取消し	現在行われている RIP 処理を取消します。 備考:この項目は「RIP」状況バー上でマウスを右クリックして、選択す ることもできます。
	印刷の取消し	現在行われている印刷処理を取消します。 備考:この項目は「印刷」状況バー上でマウスを右クリックして、選択 することもできます。
	フォント管理	Fiery Spark Pro サーバハードディスクに格納されているフォントの表示、 追加欧文フォントのダウンロード、またはフォントの削除が行えます(シ ステム管理者用パスワード必要)。
	キャリブレー ト	ColorWise Pro Toolsを起動します(『カラーガイド』参照)
	ジョ ブロ グ の 消去	ジョブログの内容をすべて消去します(システム管理者用パスワード必 要)。
	再起動	Fiery Spark Pro サーバの再起動を行います(システム管理者またはオペレータ用パスワード必要)。
	初期化	Fiery Spark Pro サーバ上のすべてのキュー内のジョブ、アーカイブされた ジョブ、アーカイブジョブのインデックス、およびジョブログを削除し ます(システム管理者用パスワード必要)。
サーバ	ログアウト	Fiery Spark Pro サーバからログアウト(接続解除)します。

メニュー	選択項目	選択結果
ウィンドウ	フィルタ	アクティブなウィンドウ用に「フィルタ」ダイアログボックスを表示し ます。
	エクスポート	アクティブなウィンドウの情報をタブ区切りのテキストファイルとして 保存します。
	印刷	アクティブなウィンドウを印刷します。
	ヘル パー ア プ リケーション 表示	ユーザ指定のアプリケーションを起動し、アクティブなウィンドウの情 報を表示します。
	最新の情報に 更新	「ジョブログ」ウィンドウの表示を最新情報に更新します。 注意:この項目は「ジョブログ」ウィンドウが表示されている場合のみ 選択可能です。
	デフォルト 設 定に復帰	状況バー下のエリアの上下幅、コラムヘッダ表示、コラム幅がデフォル ト設定に戻ります。
ヘルプ	Command WorkStation に ついて	Command WorkStation 情報を表示します。

## サーバ選択用タブ



サーバ選択用タブはメニューバーのすぐ下にあります。複数台 Fiery Spark Pro サー バがインストールされている場合、別の Fiery Spark Pro サーバにログインしたり、 Command WorkStation に接続済みの他の Fiery Spark Pro サーバ情報を表示する際に 使用します。

プランクのタブをクリックすると、「セレクタ」ダイアログボックスが現れ、使用可能サーバー覧内のサーバを選択するか、追加 Fiery Spark Pro サーバを接続構成するように促されます(2-4頁「Fiery Spark Pro サーバへの接続」参照)。1台の Command WorkStation に 5 台まで Fiery Spark Pro サーバを接続できます。

サーバ選択用タブにはどのウィンドウ(キュー、アーカイブ、ジョブログ)からで もアクセスできます。

## スライダー

Command WorkStation 画面の左側には、スライダー開閉用アイコンが並んでいます。



スライダーを閉じるには、右端のアイコンをクリックしてください。

### サーバ情報用スライダー



サーバ情報用スライダーには現在接続中のサーバの名前とバージョン、および Command WorkStation のバージョンが表示されます。このスライダーを閉じるには 右端の Fiery ロゴをクリックします。

### ログイン / ログアウト用スライダー



このスライダーに関する詳細は、2-5 頁 および 2-7 頁を参照してください。このス ライダーを閉じるには右端の錠アイコンをクリックします。





Fiery Spark Pro ユーティリティ (Fiery Downloader、Fiery ColorWise Pro Tools)を起 動するときにこのスライダーを使用します。「ジョブ」または「サーバ」メニューか ら、これらのユーティリティを起動することもできます。このスライダーを閉じる には右端の アイコンをクリックします。

### RAM およびハードディスク容量用スライダー



このスライダーは、現在選択されている Fiery Spark Pro サーバの RAM およびハー ドディスクの状況を表示します。RAM 容量には、RIP 処理用に確保されている RAM 容量が表示されます。確保される容量は、Fiery Spark Pro サーバの RAM 実装容量に よって異なりますが、最大でおよそ 108 MB です。ハードディスク容量には、Fiery Spark Pro サーバの実装容量が表示されます。このスライダーを閉じるには右端の ア イコンをクリックします。

### ジョブチケット情報

ジョブ名	利用者	日時	部数	サイズ	
			<b>U</b> 20		

「キュー」「アーカイブ」ウィンドウ上のジョブに関しては、ユーザ指定のジョブチ ケット情報(ジョブのプリント設定情報)を表示できます。Command WorkStation は RIP の前に PostScript ファイルを解析してこの情報を表示します。

この情報の表示内容は変更可能です。たとえば、ユーザの指示内容を確認するため に「指示」項目を追加することができます。

ジョブ名	利用者	日時	≞B裝∀	サイズ	指示
2 H 2 H	1 1/1 10	L	LIF 8A	2 1 2 3	10/11

コラム幅を変更したり、不要な表示項目を削除したり、表示可能な項目をすべて表示し、あまり重要でない項目を右側に寄せスクロールして見るようにすることもできます。これらを試行した後、「ウィンドウ:デフォルト設定に復帰」を選び、表示 情報を元に戻すこともできます。

「キュー」、「アーカイブ」、「ジョブログ」ウィンドウでの表示カスタマイズに関する 詳細は、3-3頁を参照してください。

### ウィンドウ選択用タブ



Command WorkStation を起動したときは常に「キュー」ウィンドウが現れます。こ のウィンドウではジョブの処理状況を表示して、ジョブフローやハードディスクの 空き容量を管理することができます。他のウィンドウを表示するには、Command WorkStation 画面底部のタブをクリックしてください。

## 「キュー」ウィンドウ

「キュー」ウィンドウではジョブ状況をリアルタイムで表示します。RIP/印刷中の ジョブ、RIP/印刷の順番待ちのジョブ、ホールドされていてオペレータの介入待ち のジョブ、処理の1段階が済んで次の段階に移り最後に表示から消えるジョブ、印 刷後再印刷待ちのジョブなど、さまざまな状態のジョブが表示されます。

これらのダイナミックなジョブの状況変化を把握するために、「キュー」ウィンドウは、印刷処理の3段階に応じて3つのエリアに分割されています。

スプール中 スプール中 - PostScript ファイルを Fiery Spark Pro サーバハードディスクに格納中 です。ファイルはパケット形式で、ネットワークや Fiery Spark Pro サーバハードディ スク上の他の場所からここに到着します。ジョブは到着順にキューに追加され、オ ペレータが介入して順番を変えない限り、同一順序で次のキューに移っていきます。

RIP中

Ļ

印刷中

RIP 中 - Fiery Spark Pro サーバにより PostScript コマンドが解析され、ジョブファ イルはプリンタで印刷できる形式に変換されます。つまりオリジナルの PostScript に対応したラスターファイルがこの解析により作成されます。このラスターファイ ルには、プリントエンジンで描画される各ドットごとのカラーデータ情報が入って います。このカラーデータにより、プリンタはシアン、マゼンタ、イエロー、ブラッ クのトナーをページのどの位置に使用するかを決めます。

印刷中 - ラスターイメージを Fiery Spark Pro サーバからプリントエンジンに高速で 送り、次のジョブ用に RAM を解放します。PostScript ファイルは通常 Fiery Spark Pro サーバハードディスク上に保存され、ラスターイメージは RAM に留まります。ユー ザやオペレータは、ラスターイメージを PostScript ファイルと共にハードディスク 上に保存するように指定することもできます。

ラスターイメージを Fiery Spark Pro サーバハードディスクに保存すると、次の利点 があります。

• RIP 済みのため高速印刷が可能
2-17 「キュー」ウィンドウ

### 状況バー

状況バーには、スプール / RIP / 印刷中のジョブの状況が表示されます。このバーは 開閉可能です。

状況バーには、処理中ジョブのファイル名および利用者名が表示されます。各状況 バーの下には、処理済みのジョブが一覧表示されます。「スプール」状況バーの下側 には、スプール済みファイル、「RIP」状況バーの下側には RIP 済みファイル(ラス ターファイル)、「印刷」状況バーの下側には印刷済みジョブが表示されます。

注意:「スプール」状況バーでは、ファイル名と利用者名は常に「不明」と表示されます。これらの情報は、ジョブが Fiery Spark Pro サーバハードディスクにスプールされ終わるまで正しく表示されません。

<b>↓</b> 019 00000000000000000000000000000000000	スプール	<sup>ファイル名</sup> 不明	利用者不明

待機中のスプール済みジョブ(背景:黄) アクティブなスプール済みジョブ(背景:白)

1010 10	RI	つ ファイル名 Document1	利用者 kinuko	<sup>サイズ</sup> 192.64 KB
		待機中の RIP 済みジョブ(背景:黄) アクティブな RIP 済みジョブ(背景:白)		

印刷	<sup>ファイル名</sup> Sample2.ps	<sup>利用者</sup> kinuko	<sup>部数</sup> 0/1

印刷済みジョブ(背景:白)

アニメーションが使用可能になっていると、ジョブの処理中に対応するジョブ状況 バーにアニメーションが現れ、処理が進行中であることがわかります。

エラーが起こると、対応する状況バーで、通常の青背景の代わりに赤背景上にエラー メッセージが表示されます。 状況バーの開閉

状況バー左端の矢印をクリックすると、状況バーが開閉します。すべての状況バーを同時に開くときはCtrl+Eキーを押します。閉じる時も同様にします。



ウィンドウエリアの伸縮

「キュー」ウィンドウが最初に表示されたときは、状況バーはウィンドウエリアが等 間隔になるように表示されます。「RIP」または「印刷」状況バーを上下にドラッグ すると、ウィンドウエリアの上下間隔が変わります。たとえば、スプール済みジョ プが多数ある場合、「RIP」状況バーを下側にドラッグすると、スクロールせずにス プール済みジョブを表示できます。

スペースの節約

多数の待機ジョブがあり、それらのジョブを常に表示する必要がない場合は、それ らを「アーカイブ」ウィンドウに移すこともできます。マウスを右クリックして 「アーカイブ」を選択すると「アーカイブ」ウィンドウ間への移動が簡単に行えます。

#### アクティブジョブと待機ジョブ

以下の記述では、オペレータが完全にジョブフローをコントロールできることを前 提にしています。直接接続と印刷キューは使用不可能で、全ジョブは待機キューに 送られます。キューに関する詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。

この状況では、オペレータはどの段階のジョブでもホールドできます(下図参照)。 四角内の表記は、「キューウィンドウ」内エリアでの状況を表します。 2-19 「キュー」ウィンドウ



待機ジョブ(ホールドされているジョブ)は「スプール」状況バーまたは「RIP」状況バーの下側の黄エリアに黄アイコン付きで表示されます。待機ジョブを印刷する には、そのジョブをアクティブにする必要があります。

アクティブジョブ(ホールドされていないジョブ)は白エリアに白アイコン付きで 表示されます。新しいジョブは古いジョブの上に置かれます。

注1:「RIP 済み待機」エリアのジョブに対して「印刷」を選ぶと、ジョブのコピー が作成され、それがアクティブジョブとなって印刷され、印刷済みキューに保存さ れます。オリジナルの待機ジョブは RIP エリアに留まります。

# ジョブアイコン

アクティブジョブと待機ジョブ用に3種類のアイコンがあります。

アイコン	アクティブジョブ (白アイコン)	待機ジョブ (黄アイコン)
PostScript アイコン	印刷済み PostScript データ、 ラスターなし	ネットワークからのジョ ブ、または印刷済み待機 ジョブ
プリンタアイコン	印刷待ちのPostScriptまたは ラスターデータ	「印刷と待機」指定で待機 中の PostScript データ
ラスターアイコン	本製品ではサポートされて いません。	RIP 済み待機中の PostScript およびラスター データ

### スプールエリア

スプールエリア内には次のジョブアイコンが表示されます。

	アイコン	意味	滞在期間
1	黄 PostScript アイコン 黄背景	ネットワークから到着 した PostScript データ、 行き先の指定なし	行き先を指定される まで

2-21 「キュー」ウィンドウ

	アイコン	意味	滞在期間
2	4	印刷待ちの PostScript データ	RIP の順番がくるまで
	白プリンタアイコン 白背景		
3		「RIP と待機」指定の PostScript データ	
	黄ラスターアイコン 白背景		
4	4	「印刷と待機」指定の PostScript データ	
	黄プリンタアイコン 白背景		

スプールエリアはネットワーク経由でユーザから送られたジョブの格納場所、および RIP 待ちジョブの待機場所です。

待機キュージョブ

オペレータの介入が必要なジョブは待機キューに送られ、スプールキュー内の黄エ リアに表示されます(前表のアイコン1)。オペレータはこのエリア内のジョブ全部 に対して行き先を指定する必要があります。行く先が指定されると、ジョブは白エ リアに移り(アイコン2、3、4)順にスプールエリア内を下がっていきます。

印刷キュージョブ

印刷にオペレータの介入が不要な場合は、ジョブは印刷キューに送られ、スプール キュー内の白エリアに表示されます(前図 アイコン2)。このジョブはオペレータの 介入なしに順番がくると RIP され、印刷されます。

#### 直接接続ジョブ

直接接続に送られたジョブは Command WorkStation ジョブー覧上には表示されません。このジョブはジョブ状況バー上に短時間表示されます(選択不可)。また、ジョ プログには含まれます。

#### RIP エリア

RIP エリア内には次のジョブアイコンが表示されます。

	アイコン	意味	滞在期間
1	黄ラスターアイコン 黄背景	ラスターデータ、 行き先の指定なし、 印刷済みで待機中も あり	削除、「アーカイブ」 ウィンドウへ移動、ま たはラスターデータ を除去されスプール エリアに戻されるま で
2	<b>し</b> 白プリンタアイコン 白背景	印刷待ちラスターデー タ、 待機指定なし	印刷処理の順番がく るまで

ジョブは RIP が終わると、RIP エリアに送られます。RIP エリアには RIP 済みデー タのみが格納されます。このエリアには待機中のジョブ(アイコン1)または印刷 待ちジョブ(アイコン2)があります。RIP エリアの待機ジョブは RIP 済みジョブ (RIP と待機)または印刷後ラスターデータが RIP エリアに戻されたジョブ(印刷と 待機)です。待機ジョブは黄エリアに表示されます。

注意: RIP エリアにある印刷待ちのラスタージョブ (アイコン2)を、ジョブコマ ンドで操作することはできません。

RIP エリア内の待機ジョブは、「アーカイブ」ウィンドウに移されるか、削除される までここに留まります。このジョブに「印刷」コマンドを適用すると、ジョブのコ ピーが作成され印刷されます。オリジナルの待機ジョブはそのまま RIP エリアに留 まります。 注意: RIP 済みジョブを再印刷する場合は、常に RIP 時のプリント設定およびキャ リブレーションが適用され印刷されます。別のプリント設定やキャリプレーション を適用する必要がある場合は、ラスターデータを削除しジョブを再 RIP する必要が あります。

#### 印刷エリア

印刷エリア内には次のジョブアイコンが表示されます。

	アイコン	意味	滞在期間
1	白 PostScript アイコン 白背景	PostScript データのみ、 ラスターデータは削除	保存ジョブの制限数 に達するまで

印刷エリア(別称:印刷済みキュー)には印刷済みのジョブが表示されます。これ らのジョブは待機指定なく印刷されたものです(スプールエリアまたは RIP エリア の白プリンタアイコン)。このためここに表示されるアイコンおよびこのエリアの背 景は全部白です。

注意:赤背景のジョブは、印刷中に PostScript エラーが起こったことを示しています。エラー内容を知るには、その行の任意の場所をダブルクリックしてください。

ジョブが印刷終了すると、そのジョブはこのエリアの先頭行に追加されます。保存 ジョブの制限数に達するまでジョブはこのエリアに留まります。制限数を越えて ジョブが印刷されると、最も古いジョブが削除されます。デフォルトの制限数は、 Fiery 設定の「印刷済みキューに保存するジョブ数」でシステム管理者が変更できま す。

注意: 印刷済みキューのジョブを再印刷すると、印刷後ジョブは印刷キューの元の 場所に戻ります。

RIP エリア内の待機ラスタージョブが印刷された場合は、待機ラスターデータが RIP エリアに留まるため、RIP エリアの待機ラスターデータを使用してジョブの再印刷 が可能です。

### ジョブコマンド

選択されたジョブの行き先や次の処理を指定する場合に、「ジョブ」メニュー下の ジョブコマンドを使用します(2-9 頁「メニューバー」参照)。右マウスコマンド (マウスを右クリックすることにより表示されるコマンド)も同様に使用できます。 ジョブコマンドは状況に応じて使用可能になります。使用不可能な場合は、薄く表 示されて選べないようになっています。ジョブコマンドは「キュー」「アーカイブ」 ウィンドウで使用できます。

「キュー」、「アーカイブ」ウィンドウ内の選択ジョブに適用可能なジョブコマンドを 以下に記載します。また、これらのコマンドがラスターデータにどのように影響す るかについても併記します。

選択項目	選択結果	ラスターデータ状況
削除	ジョブ(複数可)を削除します。	削除されます。
複製	スプール/印刷エリアの選択 PostScript データジョブ(複数可)を複製します。 備考:オリジナル印刷ジョブと異なる プリント設定や行き先を指定する場合 に選択します(複製とは、ジョブのオ リジナルに同名のリファレンスを作 成することを意味します)。	ラスターデータは複製できません。
名前変更	(ラスターデータの有無にかかわらず) ファイルのジョブ名を変更します。	新ジョブ名に関連付けられます。
待機	印刷済みジョブをスプールエリアに待 機させます。	影響しません。
RIP と待機	ジョブを RIP し、RIP エリアに待機さ せます。	削除されるまで RIP エリアにホールド されます。
印刷	順番にジョブを印刷します。 ラスターデータがない場合は、まず RIP 処理を行います。 印刷済みジョブは、ジョブ数が制限数 に達するまで印刷エリアに保存されま す。	削除されます。

2-25 「キュー」ウィンドウ

選択項目	選択結果	ラスターデータ状況
印刷と待機	順番にジョプを RIP し、印刷します。 PostScript データのみ選択可能です。 PostScript およびラスターデータは、印 刷後 RIP エリアにホールドされます。	RIP エリアにホールドされます (Fiery Spark Pro サーバハードディスクに保 存 )。
次に処理	選択したジョブに第一優先順位を与え ます。 プロセッサが空き次第、他のジョブよ り先に RIP (そして印刷)されます。 備考:このコマンドは、スプールエリ ア内の待機中でないジョブにのみ使用 可能です。また、他に待ちジョブがな い場合は、選択できません。	影響しません。
ラスター除去	ラスターデータを含むジョブからラス ターデータを削除します。 PostScript データは削除されずそのま まです。	削除されます。 注意:RIP エリアのジョブのラスター データが除去された場合は、ジョブは スプールエリアに戻されます。
プロパティ	選択されたジョブ ( 複数可 )のプリン ト設定の表示 / 書き換えができます。	再 RIP が必要なプリント設定を変更し た場合は、一旦削除され再作成されま す。
サムネイル A	選択されたラスターデータジョブを 「サムネイル A」に表示します。ここ ではさらにジョブのフルスクリーンプ レビュー表示、編集、他のジョブのラ スターデータとのマージが可能です。 注意:フルスクリーンプレビュー表示 /編集/マージ対象のラスターデータは 待機中のジョブに限ります。	ジョブが編集された場合は、変更され ます。ジョブ表示だけの場合は、変更 されません。
サムネイル Β	選択されたラスターデータジョブを 「サムネイルB」に表示します。「サム ネイルA」ウィンドウのジョブとの マージにも使用します。 注意:ただし、マージソース用ラスター データは待機中のジョブに限ります。	内容は変わりません。

選択項目	選択結果	ラスターデータ状況
ダウンロード	Fiery Downloader を使用して Fiery Spark Pro サーバにファイルや欧文 フォントをダウンロードします。	影響しません。
アーカイブ	選択された待機ジョブ(複数可)を Fiery Spark Pro サーバハードディスク、 ローカル Command WorkStation ハード ディスク、またはネットワーク上デバ イスにアーカイブし、「アーカイブ」 ウィンドウにジョブアイコンを移しま す。	ラスターデータのアーカイブが指定さ れた場合は、ジョブと共にアーカイブ されます。
インポート	外部デバイスにアーカイブ済みの PostScript またはラスターデータジョ ブ(複数可)を取り込みます。	ラスターデータがある場合は、ジョブ と共にインポートされます。
<サーバ>に 送信	選択されたジョブ(複数可)を他の接 続済み Fiery Spark Pro に転送します。	ジョブと共に転送されます。

#### 右マウスコマンドの使用

次の手順で右マウスコマンドを使用します。

右マウスコマンドを使用してジョブ処理を指定するには:

1. ジョブ一覧内の単一ジョブの処理を指定するには、そのジョブの行をマウスでポイントし、右クリックします。

複数ジョブの処理を同時に指定するには、最初のジョブをクリックして選択後、Shift キーを押しながら隣接ジョブを選ぶか、Ctrlキーを押しながら隣接しないジョブを 選び、選択されているジョブの行のどれかにカーソルを当てたまま、右クリックし ます。

注意: 複数ジョブの処理を同時に指定する場合は、ジョブアイコンが同一のジョブ のみ選択してください。ジョブアイコンが異なるジョブを選んだ場合、行き先のオ プションが同じとは限りません。

2. コマンドまたは行き先を選び、マウスボタンを離します。

コマンドが実行されるか、ジョブが指定された行き先に移ります。指定内容により ますが、ジョブは同一ウィンドウ内の異なるエリアに表示されることもあれば、別 のウィンドウに表示されることもあります。あるいはジョブが削除されて表示され なくなることもあります。

## 「アーカイブ」ウィンドウ

印刷前後にジョブ保存の必要がある場合、アーカイブ機能を使用できます。Fiery Spark Pro サーバハードディスク、ローカル Command WorkStation ハードディスク、 またはネットワーク上のデバイスにジョブをアーカイブできます。ジョブのアーカ イプ方法に関する詳細は 3-29 頁を参照してください。

注意: Command WorkStation にゲストとしてログインした場合、「アーカイブ」ウィンドウは操作できません。

PostScript データおよびラスターデータの両方をアーカイブできますが、ジョブを アーカイブするには、まずそのジョブを「キュー」ウィンドウのスプールエリアま たは RIP エリアに待機させておく必要があります。

ジョブをアーカイブすると、ジョブは上記デバイス上のアーカイブ先に移されます。 コピーされるわけではありません。「アーカイブ」ウィンドウにはアーカイブされ たすべてのジョブが表示されます。このリストは Fiery バーからの「サーバの初期 化」または Command WorkStation からの「初期化」コマンドにより (Fiery Spark Pro サーバ上の全ジョブと共に)消去されます。

「アーカイブ」ウィンドウには次のジョブアイコンが表示されます。

アーカイブアイコン	意味
PostScript アイコン	PostScript データのみ、 ラスターデータは見つからないか削除済み、 スプールエリアからジョブをアーカイブ
ラスターアイコン	ラスターデータと PostScript データ、 RIP エリアからジョブをアーカイブ

備考: 2-24 頁 記載のジョブコマンドは「アーカイブ」 ウィンドウ内のジョブにも適 用できます。

「アーカイブ」ウィンドウに表示されるアイコンは、常に白です。ジョブはこのウィ ンドウ内にいる限り行き先はありません。

	アーカイブログ						
ソート順印	ジョブ名 🔹	利用者	日時		部数	サイズ	ボリューム
	Cmyk.ps	Sano	98/04/27	07:16:36	1	2.78 MB	_
	Document2	Saito	98/04/27	07:17:55	1	9.93 MB	
	Pantonec.ps	Endo	98/04/27	07:14:11	1	392.19 KB	
	Pantoneu.ps	Takahashi	98/04/27	07:14:15	1	393.30 KB	
	Sample2.ps	Tanaka	98/04/27	07:42:37	1	4.86 MB	¥¥corp3¥TechP

外部ボリューム

デフォルトでは「アーカイブ」ウィンドウには全アーカイブジョブが表示されます。 削除されるまでアーカイブジョブはこのウィンドウに留まり続けます。「フィルタ」 コマンドを使用して、表示すべきアーカイブジョブを多様な基準で選択できます (2-32 頁参照)。

外部デバイスにアーカイブされたジョブには、「ボリューム」欄にそのデバイスのボ リューム名とパス名が表示されます。Fiery Spark Pro サーバハードディスクにアー カイブされたジョブの「ボリューム」欄には何も表示されません。

「キュー」ウィンドウと同じく、選択ジョブに対して「ジョブ」メニューまたは右マ ウスコマンドを適用できます。またコラムヘッダで右マウスコマンドを同様に使用 できます。ジョブのソート順を変えることもできます。次にその方法を示します。

目的	操作方法
「日時」でソート	「日時」コラムヘッダをダブルクリックします。「日時」コ ラムヘッダの右端に矢印が表示されます。これは、この 欄がソートに使用されていることと、そのソート順(降 順、昇順)を表します。再度ダブルクリックすると逆の ソート順になり、矢印も逆向きになります。

目的	操作方法
「キュー」ウィンドウ にジョブ( 複数可 )を 移動	「ジョブ」メニューまたは右マウスコマンドを使用しま す。たとえば、ジョブを印刷するには「印刷」または「印 刷と待機」を選びます。複数ジョブを一度に選択して移 すこともできます。詳細は 2-24 頁を参照してください。 「RIPと待機」または「待機」を選ぶと、ジョブのコピー が「キュー」ウィンドウ(前者は RIP エリア、後者はス プールまたは RIP エリア)に送られます。印刷は行われ ません。 「ラスターの除去」を選ぶと(ラスターアイコンジョブに のみ選択可能)、「アーカイブ」ウィンドウ内には PostScript データのみが残ります。
特定ジョブ( 複数可 ) のみ表示	「ウィンドウ:フィルタ」を選択し、「フィルタ」ダイア ログボックスで入力します(次項参照)。
ジョブ(複数可)の 削除	ジョブを選択し、「ジョブ」メニューまたは右マウスから 「削除」を選択します。
「アーカイブ」ウィン ドウのジョブチケッ ト情 報 ヘッ ダ を削 除、移動または追加	該当コラムヘッダ上でマウスを右クリックします。「追加」で追加ヘッダを選びます。右マウスコマンドの内容は「キュー」ウィンドウと同じですが(2-15 頁参照)、同じコラムヘッダ配置をする必要はありません。「アーカイブ」ウィンドウでのコラムヘッダ配置は「キュー」ウィンドウの配置とは独立しています。
コラム幅変更	コラムヘッダの境界線をクリックし、境界線を右または 左にドラッグします。
現在表示中のアーカ イブジョブー覧をタ プ区切りのテキスト ファイル形式でエク スポート	「ウィンドウ:エクスポート」を選択します。ファイル名 と保存場所を指定後、「保存」をクリックします。この ファイルはスプレッドシートやデータベース、ワードプ ロセッサアプリケーションで使用できます。

# 「ジョブログ」ウィンドウ

ジョブログは、すべての処理 / 印刷済みジョブとその処理 / 印刷日時などのジョブ 情報を一覧表示したものです。また、ダウンロードしたファイルやフォント、「RIP と待機」処理を行ったジョブも表示されます。

注意: Command WorkStation にゲストとしてログインした場合は、「ジョブログ」ウ インドウを利用できません。

ジョブログには、前回のジョブログ消去後に処理/印刷されたジョブのみが表示されます。ジョブログの消去は「ジョブログ」ウィンドウから手動で行えます。また、 Fiery 設定でシステム管理者がジョブログの自動消去を設定している場合は、自動的 に消去されます。Fiery バーからの「サーバの初期化」(1-3 頁参照)または Command WorkStation からの「初期化」コマンドによっても消去されます。

「ジョブログ」ウィンドウでもコラム幅を変更できます。コラムヘッダの境界線をクリックし、境界線を右または左にドラッグします(3-3頁参照)。

ジョブロク	ĵ							
結果	書類	利用者	日付	開始時刻	終了時刻	処理時間	サイズ	デバイス
ОК	スタートページ	オペレータ	98/04/27	16:11:31	16:13:54	00:00:10	172.01 KB	
ОК	テストページ	オペレータ	98/04/27	16:11:42	16:14:09	00:00:13	18.82 KB	
ОК	設定情報	オペレータ	98/04/27	16:42:12	16:44:27	00:00:30	7.30 KB	
ОК	スタートページ	オペレータ	98/04/27	16:42:43	16:44:42	00:00:21	172.01 KB	
ок	ジョブログ	オペレータ	98/04/27	17:03:40	17:05:18	00:00:16	9.07 KB	

ジョブログ表示時には、全ログを表示することも、指定範囲内の日付のログのみを 表示することもできます。デフォルトでは全ログが表示されます。日付の範囲を指 定するには、「ウィンドウ:フィルタ」を選択し、「作成日」欄で「範囲指定」を選 択し開始日と終了日を入力します。

表示範囲指定に関する詳細は、次項を参照してください。

注意:「ジョブログ」ウインドウでの「開始時刻」はジョブの RIP 開始の時刻を、 「終了時刻」はジョブの印刷終了時刻を、「処理時間」は RIP にかかった時間を指し ます。これらの時刻 / 時間は「キュー」ウインドウに表示される「日時」欄の数値 とは必ずしも一致しま せん。 • ジョブログ表示の更新

日付範囲指定後、「ジョブログ」ウィンドウ表示を更新する場合は、「ウィンドウ: 最新の情報に更新」を選択します。

• ジョブログのエクスポート

「ジョブログ」ウィンドウで「ウィンドウ:エクスポート」を選択することにより ジョブログをタブ区切りのテキストファイルとして保存できます。このファイル はスプレッドシートやデータベース、ワードプロセッサアプリケーションで使用 できます。日付範囲を指定している場合は、エクスポートファイルにもその指定 が反映されます。

ジョブログの消去

ジョブログは Fiery Spark Pro サーバ ハードディスク上に格納されます。システム 管理者としてログインしていると、「サーバ:ジョブログの消去」を選択すること によりジョブログを消去できます。システム管理者が「サーバの初期化」または 「初期化」を行ったとき、あるいは Fiery Spark Pro をインストールし直した場合に も、ジョブログは消去されます。また 55 ジョブごとに自動的にジョブログを消去 することもできます。

• ジョブログの印刷

ジョブログを印刷するには「ジョブログ」ウィンドウで「ウィンドウ:印刷」を 選択します。あるいは「ファイル:ページの印刷」を選択し「ジョブログ」を選 択し「印刷」をクリックします。日付範囲を指定している場合は、この印刷にも 指定範囲が反映されます。一方、「ファイル」メニューからジョブログを印刷した 場合は、最新の 55 ジョブを印刷します。ジョブログの詳細は 3-32 頁の「ジョブ ログの使用方法」を参照してください。

• ジョブログの自動印刷と自動消去

ジョブログの取扱い方法を指示します。システム管理者特権を持っている場合は、 「サーバ:設定」の「ジョブログ設定」で55ジョブごとにジョブログを自動印刷 するか、あるいは55ジョブごとにジョブログを自動印刷し自動消去するかが選 べます。またジョブログ印刷時の用紙サイズも選べます。

## ジョブの表示範囲指定

「キュー」、「アーカイブ」、「ジョブログ」ウィンドウにはすべてのジョブが表示され ます。多数のジョブが存在する場合、特定ジョブまたはグループのジョブを見つけ ることが困難になります。このため、「キュー」、「アーカイブ」、「ジョブログ」ウィ ンドウの「ウィンドウ」メニューにはフィルタ機能があります。この機能により特 定条件のジョブのみをウィンドウに表示できます。

「フィルタ」ダイアログボックスを表示するには、該当ウィンドウで「ウィンドウ: フィルタ」を選択します。

フィルタ  X    テンブレート  別名保存    「別院」
ジョブ名:
利用者名:
12/04/11 💌 から
12/04/11 <b>z</b>
ジョブ注釈メモ1:
ジョブ注釈メモ2:
指示:
ポリューム:
デバイス:
OK キャンセル

- 「キュー」ウィンドウでは、次の基準によりジョブの表示範囲を制限できます。基準をすべて適用することも可能です。
  - ジョブ名
  - 利用者名

作成日 (範囲指定可)

- ジョブ注釈メモ 1/ ジョブ注釈メモ2
- 指示
- 注意:「デバイス」欄は使用しないでください。

•「アーカイブ」ウィンドウでは、上記に加え、次の基準によりジョブの表示範囲を 制限できます。

ボリューム

注意:「デバイス」欄は使用しないでください。

「ジョブログ」ウィンドウでは、「作成日」のみにより表示範囲を制限できます。
 注意:「デバイス」欄は使用しないでください。

フィルタ機能により、「フィルタ」ダイアログボックスで指定したすべての情報に基づいて、該当ジョブを検索できます。選択基準に基づいて必要な情報を入力してください。複数欄に入力すると、入力基準すべてを満たしたジョブのみが表示されます。たとえば、「ジョブ名」欄で「ABC」、「利用者名」欄で「太郎」と入力すると、ジョブ名に「ABC」が含まれ、利用者名に「太郎」が含まれるジョブのみが表示されます。

日付で表示範囲を制限するには、「作成日」欄の「範囲指定」を選び、開始日と終了 日を入力します。あるいは、開始日と終了日欄右側をクリックし、カレンダー内の 該当日をクリックします。前後の月を表示するには上両端の矢印をクリックしま す。

フィルター						X	I
「テンプレ	/- ŀ						
					-	別名保存	
						削除	
	-						
2	з / Ж:						
利用	用者名:						
一作成日 -							
		O 17	×۲	0	• 範	用指定	
00	/08/25				•	から	
00	/10/23				-	まで	
	2000年	10月		Þ			
日月	火水	末	金	±			
24 25	26 27	28	29	30			
1 2	3 4	5	6	.7			
15 16	17 19	12	13	21			
22 483	24 25	26	27	28			
29 30	31 1	2	3	4			1
2) \$E	1: 00/	08/1	1				
	7.02						
	01	<		=	キャン	セル	

フィルタが適用されると、「キュー」ウィンドウの各状況バーに非表示のジョブ数が 表示されます。これにより現在表示されていないジョブ数がわかります。

#### フィルタテンプレートの作成

特定のフィルタ基準を繰返し使用してジョブリストを表示する場合は、フィルタテ ンプレートを作成しておくことができます。フィルタテンプレートを使用すると、 ジョブリスト表示の際のフィルタ項目の入力作業を省けます。

フィルタテンプレートを作成するには:

- 1. 「ウィンドウ:フィルタ」を選択し、「フィルタ」ダイアログボックスを表示します。
- 2. 適宜、フィルタ基準を入力します。
- 3. 「別名保存」をクリックします。
- 4. 新テンプレート名を入力し、「OK」をクリックします。

テンプレート別名保存	×
OK.	キャンセル

新テンプレートは「フィルタ」ダイアログボックスの「テンプレート」欄に保存されます。

各ウィンドウでフィルタテンプレートの基準を使用してジョブを表示するには、 「フィルタ」ダイアログボックスを表示し、「テンプレート」ポップアップメニュー で使用するテンプレートを選択し、「OK」をクリックします。

既存テンプレートを削除するには、「フィルタ」ダイアログボックスを表示し、「テ ンプレート」ポップアップメニューでテンプレートを選択し、「削除」をクリックし て、確認ダイアログボックスで「OK」をクリックします。 2-35 ジョブのプロパティ

# ジョブのプロパティ

Command WorkStation にシステム管理者またはオペレータとしてログインすると、 「プロパティ」コマンドを使用してジョブのプリント設定(プロパティ)を表示し、 書き換えできます。

「プロパティ」コマンドを以下の目的に使用できます。

- ユーザのプリント設定の確認
- 印刷結果またはプリントデバイスの状態に応じたプリント設定の書き換え
- オリジナルジョブの複製作成後の複製ジョブ用のプリント設定の変更
- ユーザ指定の部数を印刷する前の1部試し印刷

### ジョブプロパティの表示と編集

「プロパティ」コマンドで複数ジョブのプリント設定を同時に表示 / 編集できます。 この機能を使用して複数ジョブのプロパティを比較し、同一設定のジョブをグルー プ化することにより、印刷速度や効率を高めることができます。

単一または複数ジョブのプロパティを表示するには、ジョブを選択し、「ジョブ」メ ニューまたは右マウスコマンドで「プロパティ」を選びます。

	Ĥ. PS	
ト ジョブ		
├₴ 用紙サイズ	A4	
	100%	
―― 給紙トレイ	自動用紙選択	
- 🤁 用紙の種類	ブリンタの	
西面	オフ	
音P数		
ト メディア		
トレイ切替え	プリンタの	
排紙	フェイスダウン	
⊢ ColorWise		
😴 カラーの表現	ブリンタの	
😂 RGBソースプロファイル	ブリンタの	
₴ ガンマ	ブリンタの	
20 白色点	プリンタの	
-≳ RGB色度座標	プリンタの	
- 🥄 RGB色分解	ブリンタの	

「プロパティ」ダイアログボックスでプリント設定を変更する方法については、3-19 頁の「プリント設定の表示と書き換え」を参照してください。

注意: プリンタドライバで利用可能なプリント設定の中には、「プロパティ」ダイ アログボックスに表示されないものがあります。特定のプリントオプションおよび 設定方法に関する詳細は、『印刷ガイド』の「付録A」を参照してください。

## ジョブの表示と編集

Command WorkStation はジョブの表示 / 編集用にサムネイル機能を提供します。この機能によりラスターデータの表示および編集ができます。サムネイルは2種類のサムネイルウィンドウと複数のページ操作コマンドから成ります。

下記の目的にサムネイルを使用できます。

- 「サムネイル A」ウィンドウでは、現在 RIP 中のジョブまたは任意のラスターデー タジョブを表示できます(3-10 頁「ジョブの表示」参照)。
- 「サムネイルA」および「サムネイルB」ウィンドウで、ラスターデータジョブの フルスクリーンプレビューを表示できます(2-39 頁の「フルスクリーンプレビュー」参照)。
- 「サムネイルA」および「サムネイルB」ウィンドウを使用して、複数ジョブのラ スターデータをマージできます。

サムネイルのマージ機能により、特定アプリケーションを使用する必要はなくなり ます。異なる種類の書類、さらに異なるオペレーティングシステム上で作成された 書類でもマージが可能です。グラフィックプログラムで作成したカラーページを、 ワードプロセッサで作成したテキストページとマージすることもできます。サムネ イルの機能概要を次項で説明します。マージ方法の詳細は、3-12 頁の「サムネイル 機能を使用したラスターデータジョブの編集とマージ」を参照してください。

#### サムネイルを使用したジョブの編集とマージ

ラスターデータジョブを選び、(「ジョブ」メニューまたは右マウスコマンドから) 「サムネイル A」/「サムネイル B」コマンドを選択すると、対応したサムネイルス ライダーが開き、選択されたジョブのサムネイルが表示されます。サムネイルスラ イダーを閉じるには、ウィンドウ右側のサムネイルタブをクリックします。サムネ イルスライダーが開いているときは、タブ内の矢印は右向きです。これは、タブを クリックするとスライダーが閉じることを意味します。

「サムネイル A」ウィンドウではラスターデータジョブ(現在 RIP 中のジョブ、ま たは RIP され Fiery Spark Pro サーバハードディスクに保存されているジョブ)のサ ムネイルを表示できます。「サムネイル A」でラスターデータの編集を行うこともで きます。たとえば、ページ順の変更、ページの削除/複製、他のラスターデータジョ ブからのページのコピーが可能です。編集されたラスターデータジョブは、新しく 印刷可能ジョブとして保存することができます。

「サムネイルB」ウィンドウでもラスターデータジョブを表示できます。「サムネイ ルA」内のジョブの編集に「サムネイルB」内のジョブを使用できます。

注意:「サムネイルA」のページを削除する場合、ジョブのコピーをあらかじめ保存しておくことをおすすめします。



「サムネイルB」ジョブの一部あるいは全部のページを「サムネイルA」にドラッグ (コピー)して、データをマージすることができます。これにより「サムネイルA」 に新たな書類が作成されます。「サムネイルA」ウィンドウ内でページを選択する と、「ページ」メニューでページ編集用コマンドが利用可能になります(「サムネイ ルA」内のページを右クリックしても、同様のコマンドが利用できます)。このコマ ンドの操作を取消すには「ページ:元に戻す」コマンド、または右クリックして「元 に戻す」を選択します(複数回可)。

マージするソースページを次々に「サムネイル B」に表示し、それを「サムネイル A」にドラッグすることにより、複数書類から「サムネイル A」書類にページをマー ジできます。「サムネイル B」ウィンドウ内では、ページの表示のみ可能です。「サ ムネイル B」のページを「サムネイル A」にコピーすることはできますが、「サムネ イル B」の書類を編集することはできません。「サムネイル A」でマージしてでき上 がった書類を、新ラスターデータジョブとして(別の名前で)保存できます。 詳細は、3-12頁の「サムネイル機能を使用したラスターデータジョブの編集とマージ」を参照してください。

#### フルスクリーンプレビュー

「サムネイル A」/「サムネイル B」ウィンドウ内のフルスクリーンプレビュー対象 のページをダブルクリックすると、フルスクリーンプレビューが表示されます(ま たは、ページを右クリックし、ポップアップメニューで「プレビュー」を選択する か、ページを左クリックして「ページ」メニューで「プレビュー」を選択しても同 様の結果が得られます)。

注意: フルスクリーンプレビューは表示のみ可能です。この表示には時間がかかり ます。一旦プレビュー処理が始まると、途中でキャンセルできません。

注意: サムネイル機能を使用してラスターデータジョブを編集した場合、この編集 済みジョブを一旦保存しないと、フルスクリーンプレビュー表示はできません。

フルスクリーンプレビューのアイコンを使用して、隣接ページの表示、ページの回転、プレビューの終了ができます。



# 第3章: 印刷ジョブの管理

本章では Fiery Spark Pro サーバとプリンタの印刷管理をするために必要な一般情報 と、Command WorkStation を使用して印刷ジョブを監視 / 管理する方法を説明しま す。ジョブを送信するユーザが初回の印刷時から正しく印刷できるように、適切な 情報を供給する方法を説明後、ジョブの印刷過程に沿って、ジョブを迅速に処理す る方法と Command WorkStation 提供の特別な機能を利用する方法について説明しま す。

## ユーザとのコミュニケーション

Command WorkStation インターフェイスを利用すると、ユーザとオペレータ間のコ ミュニケーションが行えますが、それでも、印刷ジョブを送信するユーザは、自分 のジョブに関して適切なプリントオプションが設定できるよう Fiery Spark Pro サー バとプリンタに関する情報を得ておく必要があります。

#### ユーザが必要な情報

オペレータまたはシステム管理者は、必要に応じて次の情報をユーザに知らせる必 要があります。

- ネットワーク上のプリントデバイス名とプリントデバイスを共有するサーバ名
- ユーザのアクセス状況

待機キューのみ使用でき、全ジョブに対してオペレータの介入が必要なのか?あ るいは直接接続または印刷キューが使用可能なのか?

- ジョブを Fiery Spark Pro サーバにホールドし削除するまでの期間
- プリントデバイスのデフォルトおよび他の設定情報(設定情報ページ使用)

• 内蔵フォント一覧

ユーザのアプリケーションはフォントを自動的にダウンロードするのか? ダウンロードしない場合、ユーザはフォントをダウンロードできるのか、フォン トを書類に含む必要があるのか、またはユーザがフォントをシステム管理者に供 給する必要があるのか?

- 「ジョブ注釈メモ1」/「ジョブ注釈メモ2」欄の記入要件(ジョブログに表示)
  たとえば、部署名、部門会計コード、電話番号または内線番号や、部門指定の記入事項など。
- デフォルトキャリブレーションセットおよび最新測定日
- カスタムシミュレーションに関する情報

どのカスタムシミュレーションセットが利用可能か?また、カスタムシミュレー ションセットは何に基づいているか?

注意:Fiery Spark Pro サーバにこれらのカスタムシミュレーションセットがロードされていない場合でも、「CMYK シミュレーションプロファイル」オプションの選択項目としてこれらが表示されるため、ロードされていないシミュレーションセットを選択しないようにユーザに通知する必要があります。

• Fiery Spark Pro サーバの IP アドレスまたは DNS 名

ユーザが自分のジョブの印刷状況を確認するために Fiery WebTools / Fiery Spooler にアクセスするときに使用します。

- 利用可能な用紙の種類、用紙がサポートされていない場合の代替法、標準的な用 紙トレイと用紙の種類の組み合わせ
- 「指示」欄の入力形式
- WebLink 先で得られる情報
- リモートワークステーションでプリントデバイスを設定する方法
- PPD ファイル、PostScript プリンタドライバ、カラー参照ファイル、追加情報の入 手方法
- プリントオプション推奨設定
- 競合する設定および一般的な PostScript エラー

#### ユーザが印刷要件を通知する方法

オペレータは、前もってジョブの印刷要件とその連絡方法をユーザに提示しておく 必要があります。

Fiery Spark Pro ではユーザが使用できる連絡方法として、「指示」と「ジョブ注釈メ モ1」/「ジョブ注釈メモ2」欄が提供されています。「指示」欄はユーザがジョブの 印刷要件をオペレータに通知するために設けられています。「ジョブ注釈メモ1」/ 「ジョブ注釈メモ2」欄はジョブログに表示されます。

たとえば、ユーザは「指示」または「ジョブ注釈メモ1」/「ジョブ注釈メモ2」欄 を使用して、自分の印刷ジョブに関する次の情報をオペレータに提供できます。

- 利用者名、電話番号 / 内線番号
- 優先順位、期日、通知の要 / 不要
- 印刷部数
- オペレータによるカラーチェックの要 / 不要
- •(あとで印刷または再印刷するために)ジョブをホールドするかどうか
- 必要用紙枚数
- ジョブの印刷後の処理方法

Command WorkStation ウィンドウのカスタマイズ

「キュー」ウィンドウ内のジョブチケット情報の表示内容を、項目を再構成してカス タマイズできます。追加 / 削除 / 移動 / コラム幅の伸縮が可能なので、最重要項目を 左側に寄せ、スクロールせずに見られるようにできます。

注意:「ジョブ名」と「利用者名」だけは、削除/移動できませんが、コラム幅を 変更することはできます。

「キュー」ウィンドウの表示内容をカスタマイズするには:

1. コラムヘッダを右クリックします

メニューが現れます。「追加」サブメニューには現在表示されていない項目が表示されます。

2. 表示する項目を選択し、その表示順序を指定します。

項目名上で右クリックして追加、削除、または移動を選択します。追加の場合は、 さらにサプメニューから追加項目を選択します。選択後、左クリックします。

追加 - 追加項目はクリックした項目名の右側に表示されます。

左に移動、右に移動 - 項目は左または右に移動します。

削除 - 項目は削除されます。

「ジョブ名」と「利用者名」は必須です。他の項目は追加/移動/削除が可能です。

3. コラム幅を調節します。

コラムヘッダの境界線をクリックし、左または右にドラッグしてコラム幅を調節し ます。コラム幅はいつでも変更できます。

### Command WorkStation 環境設定

「ファイル:環境設定」を選択し、「環境設定」ダイアログボックスを表示します。

環境設定
一般
▼ アニメーション使用
□ ポップアップヘルプ使用
単位: ポイント 🔽
一時パス: 0:¥TEMP 参照
- フィルター
ヘルパーアブリケーション: 参照
テンブレートパス: C:¥Program Files (激飄)
- 面付け
テンプレートバス: d:¥temp¥CStation 参照
OK キャンセル

メニュー	選択項目	選択結果
一般	アニメーション 使用	状況バーにアニメーションを表示するかどう かを選択します。
	ポップアップ ヘルプ使用	Command WorkStation ウィンドウ内の主項目 をマウスでポイントしとたきに説明を表示す るかどうかを選択します。
	単位	表示サイズの単位(ポイント、インチ、ミリ メートル)を指定します。
	一時パス	Command WorkStation 作成の一時ファイルの 格納場所を指定します。
フィルタ	ヘ ル パ ー ア プ リ ケーション	アクティブなウィンドウの内容を表示すると きに使用するアプリケーションのパスを指定 します。「ウィンドウ:ヘルパーアプリケー ション表示」を選択すると、ここで指定され たアプリケーションが起動します。
	テンプレートパス	アクティブなウィンドウで使用するテンプ レートファイルのパスを指定します。
面付け	テンプレートパス	使用できません。入力しないでください。

「環境設定」ダイアログボックスでは次の項目を指定します。

# Fiery Spark Pro サーバ情報ページの印刷

「ファイル:ページの印刷」コマンドにより特殊ページを印刷して、Fiery Spark Proサーバ関連情報を知ることができます。

Fiery Spark Pro サーバ情報ページを印刷するには:

1. 「ファイル:ページの印刷」を選択します。

ページの印刷 - ブリンタ選択 - ○ サーバ ○ ローカルブリンタ ページ選択	ページの印刷 プリンタ選択 ○ サーバ ○ ローカルプリンタ ページ選択
□テストページ □設定情報ページ □ジョブログ □カラー表 □フォントー覧	設定情報ページ   アーカイブログ   キュー
印刷	「印刷」「キャンセル」

2. 「プリンタ選択」欄でページの印刷先を指定します。

- サーバ ページは Fiery Spark Pro サーバに接続されたプリンタに印刷されます。
- ローカルプリンタ ページはネットワーク上の任意のプリンタに印刷されます。
- 3. 「ページ選択」欄で、印刷するページを選択します。

 テストページ - 「サーバ」から印刷されます。このテストページで Fiery Spark Pro サーバとプリンタが正しく接続されていることを確認できます。また、プリン タや Fiery Spark Pro サーバの問題に対処するために、カラーやグレイスケールの出 力状態をこのページで検討できます。サーバ名、プリンタの種類、カラー設定、キャ リプレーション情報、印刷日時が印字されます。

設定情報ページ - 現在の Fiery Spark Pro サーバとデバイスの設定情報が印刷されます。このページには Fiery Spark Pro のハードウェアとシステムソフトウェアに関する一般情報、現在の Fiery 設定内容すべて、キャリプレーション情報、および Fiery Spark Pro サーバのイーサネットアドレスが印字されます。

ジョブログ - 「サーバ」から印刷されます。最近 RIP または印刷された 55 件のジョブのログが印刷されます。ジョブログに表示される項目およびジョブログファイルのエクスポート方法に関しては、3-32 頁の「ジョブログの使用方法」を参照してください。

- カラー表 「サーバ」から印刷されます。Fiery Spark Pro サーバで使用可能な RGB、CMY、PANTONE カラーの見本が印刷されます。
- フォント一覧 「サーバ」から印刷されます。Fiery Spark Pro サーバハードディ スクドライブに格納されているすべてのフォント名の一覧が印刷されます。



アーカイブログ - 「ローカルプリンタ」から印刷されます。「アーカイブ」ウィンドウ内のジョブリストが印刷されます。

 キュー - 「ローカルプリンタ」から印刷されます。「キュー」ウィンドウ内のジョ ブリストが印刷されます。

4. 「印刷」をクリックします。

手順2で「サーバ」を選んだ場合、「部数」欄に印刷部数を入力し、「OK」をクリックします。ページは Fierv Spark Proサーバに接続されたプリンタに印刷されます。

手順2で「ローカルプリンタ」を選んだ場合は、「印刷」ダイアログボックスでプリ ントデバイスを指定し、「部数」欄で印刷部数を入力して、「OK」をクリックしま す。指定プリントデバイスに印刷されます。

「ページの印刷」コマンドで印刷された Fiery Spark Pro サーバ情報ページは、ジョ プログ上に利用者名が「オペレータ」として表示されます。システム管理者として Command WorkStation にログインしていても「オペレータ」が表示されます。

### ワークフロー例

ジョブ数やジョブの複雑さ、オペレータの責任および仕事の分担量でワークフロー が異なります。以下では、オペレータがジョブ処理中に実際に直面する状況を例示 し、その処理方法を説明します。

例1: 印刷キューが使用可能になっており、誰でも Command WorkStation でジョブ の進行状況を確認できます。Fiery Spark Pro サーバとプリンタが利用可能なときに、 比較的小さなジョブが Fiery Spark Pro サーバに送られてきました。「キュー」ウィン ドウで上から下へとジョブの処理が進行していく様子が表示されます。

ジョブが送られると、Command WorkStation では「スプール」状況バーがアニメート(アニメーションが動いている状態)し、ジョブファイル名が現れます。スプールが終了するとすぐに「スプール」状況バー上の表示が消え、「RIP」状況バーがアニメートします。RIP が終了するとすぐに「RIP」状況バー上のジョブ表示が消え、「印刷」状況バーがアニメートします。印刷済みジョブは「印刷」状況バーの下に表示され、ジョブページがプリンタから出力されます。

例2: すべてのジョブは待機キューに送信されます。したがって、ジョブの印刷に はオペレータの介入が必要です。

例1の場合と同様、ジョブが送られると、Command WorkStation では「スプール」 状況バーがアニメートします。スプールエリア(「スプール」状況バーの下側)に ジョブ名が表示され、オペレータはジョブチケット情報(指示、印刷部数など)を 確認できます。

オペレータはまず、すぐに印刷を開始するか、後で処理するものとしてホールドす るかを決める必要があります。

次に下記の点に注意して印刷を実行します。

- ジョブの印刷準備はできているか
- 他のジョブが優先しないか
- ジョブの印刷目的が最終印刷であるかテスト印刷であるか

ここで何もしなければ、ジョブはスプールエリアに残り、ファイルは Fiery Spark Pro サーバハードディスクに留まります。

このジョブは通常のジョブで、特別の取扱いは不要とわかりました。ジョブを右ク リックし「印刷」を選択します。「RIP」状況バーがアニメートし、そのあとすぐに 「印刷」状況バーがアニメートします。その後ジョブは印刷済みジョブとして「印 刷」状況バーの下に表示され、ジョブページがプリンタから出力されます。

次のジョブは以前に経験したことのないほどサイズの大きいものです。「指示」欄に は、ジョブの送信者により、1部印刷のあとでユーザがチェックし、それから 50部 印刷する、という指示が入力されています。現在の印刷部数が「1」であることを確 認し、ジョブを右クリックし「印刷と待機」を選択します。

「RIP」状況バーがアニメートし、ジョブファイル名が表示されます。次に「印刷」 状況バーがアニメートし、ジョブが1部プリンタから出力されます。ジョブ送信者 に連絡しチェックを依頼します。OKが出たら、RIPエリアに待機中のジョブを右ク リックして「プロパティ」を選択し、部数を「49」に変更した後、再度右クリック して「印刷」を選択します。 例3: Fiery Spark Pro サーバに印刷ジョブが次々に送信されてきています。スプー ルエリアにある通常の印刷ジョブをいくつか右クリックし「印刷」を選択し、Fiery Spark Pro サーバが次々に印刷できるようにします。再印刷することがわかっている ジョブには、「印刷と待機」を選択します。トレイから印刷済みジョブを取り除き、 用紙を補給します。

通常のジョブが処理され印刷されるあいだに、特別な用紙を必要とするもの、ジョ プの送信者に PostScript エラーが起きたことを知らせなければならないものなど、 より注意の必要なジョブの準備をします。

特殊用紙を補給する前に、印刷待ちのジョブがすべて待機エリアにあることを確認 します。特に重要なジョブが RIP 待ちの場合は、ジョブを右クリックし「次に処理」 を選択します。

## ジョブの取消し

ジョブが RIP や印刷に送られた後で、印刷ジョブを取消す必要があるかもしれません。RIP / 印刷中のジョブのみ取消せます。RIP / 印刷待ちジョブ(白背景ジョブ)は 取消せません。

• RIP 中ジョブの取消し

ジョブが RIP 中でジョブファイル名が「RIP」状況バーに表示されているときに、 「サーバ: RIPの取消し」を選択するか、「RIP」状況バーを右クリックし「RIPの 取消し」を選択します。または F7 キーを押すか、「RIP」状況バーを右クリックし 「RIPの取消し」を選択します。

RIP 中のジョブが取消された場合、そのジョブはジョブログに表示されます。

印刷中ジョブの取消し

ジョブが印刷中でジョブファイル名が「印刷」状況バーに表示されているときに、 「サーバ:印刷の取消し」を選択します。もしくは F8 キーを押すか、「印刷」状 況バーを右クリックし「印刷の取消し」を選択します。

印刷中のジョブが取消された場合、そのジョブはジョブログに表示されます。

注意:ジョブが取消されても部分的に印刷されたり、色落ちのあるページやまったくプランクのページが出力されることがあります。

• Fiery バーからの取消し

Fiery バーに処理/印刷中のジョブ名が表示されているときに、右クリックメニューから「RIPの取消し」/「印刷の取消し」を選択します。Fiery バーに関する詳細は、第1章を参照してください。

# ジョブの表示

「サムネイルA」ウィンドウを使用して、RIP 中ジョブを表示できます。また RIP エ リア内のラスターデータジョブを「サムネイルA」/「サムネイルB」ウィンドウで 表示することもできます。

さらに、サムネイルウィンドウでは、RIP エリアで待機中のラスターデータジョブ をサムネイル表示した後の、ページの並び替え / 削除 / 複製、および書類のマージ が可能です。

### RIP 中ジョブの表示

「サムネイルA」ウィンドウの RIP ジョブ表示モードでは、RIP 中ジョブの進行状況 を確認できます。

RIP 中ジョブのサムネイルを表示するには:

「キュー」ウィンドウ右端の「サムネイルA」タブをクリックし、スライダーを開きます。

サムネイルウィンドウ左側の、RIP 中ジョブ表示用アイコン(次図参照)をクリックします。



RIP ジョブ表示モードにしておくと、「サムネイル A」ウィンドウは RIP 中ジョブの RIP 済みページを順に表示します。

3. スプールエリア内のジョブを選択し、右クリックして「RIP と待機」、「印刷」、また は「印刷と待機」を選択します。

各ページは RIP が終了すると順に「サムネイル A」ウィンドウに表示されます。

 表示を終了するには、「サムネイルA」タブをクリックしてサムネイルウィンドウを 閉じます。

ラスターデータジョブのサムネイルを表示するには:

- 1. RIP エリア内のサムネイル表示対象のラスターデータジョブを選択します。
- 2. 「ジョブ」メニューから、またはジョブを右クリックして「サムネイル A」または 「サムネイル B」を選択します。

「サムネイル A」では、ウィンドウ左側の RIP 済みジョブ表示用アイコン(次図参照)が選択されていることを確認してください。



注意:「サムネイルA」ウィンドウで、ジョブのページ表示が完了していることを 確認してから、他のラスターデータジョブを開いてください。ジョブのページ数が 多い場合、全ページの表示に時間がかかる場合があります。



3. 表示を終了するには、「サムネイル A」または「サムネイル B」タブをクリックして サムネイルウィンドウを閉じます。

# サムネイル機能を使用したラスターデータジョブ の編集とマージ

Fiery Spark Pro サーバではラスターデータジョブを編集できるため、異なる複数の 書類から一つの印刷用ジョブを作ることができます。たとえば、ページレイアウト アプリケーションで作成したフルカラーの表紙や各章のカバーページを、ドキュメ ント処理アプリケーションで作成した2 色刷りのテキストページと組み合せること ができます。また、スライド形式のプレゼンテーション用ジョブを作成する場合も、 別のプレゼンテーション用ジョブからスライドを追加挿入できます。

同時にターゲットジョブとソースジョブの2つのラスターデータジョブを表示できます。ターゲットジョブは編集の対象となるジョブで「サムネイルA」に、ソース ジョブは差し替え / 挿入ページ提供用ジョブで「サムネイルB」に表示します。
3-13 サムネイル機能を使用したラスターデータジョブの編集とマージ

注意:新規の PostScript ジョブをこの方法で作成することはできません。マージ後のラスターデータジョブを印刷する際は、各ソースページに対応した PostScript データが存在し参照可能になっている必要があります。サムネイル機能でジョブを編集/マージする前に、必ずソースジョブのプリントオプションが最終出力用に設定され RIP されていることを確認してください。サムネイル機能で編集されたラスターデータジョブを再 RIP した場合の動作は保証できません。

注意: 複数のユーザが Command WorkStation / Fiery WebSpooler / Fiery Spooler を介 して Fiery Spark Pro サーバに接続して「サムネイル A」で同一ジョブを開いている 場合、あるユーザがジョブに変更を加えても、他のユーザの「サムネイル A」ウィ ンドウには変更が反映されないことがあります。また、その他の予期せぬエラーが 発生することがあるので、複数ユーザによる同一ジョブの同時編集 / マージは行わ ないでください。

ラスターデータジョブを編集するには:

- 待機ラスターデータジョブを選択し、「ジョブ:サムネイルA」を選択します。
   非待機ジョブを「サムネイルA」ウィンドウに表示できますが、待機ラスターデー タジョブのみ編集できます。
- 「サムネイル A」ウィンドウでサムネイル画像を右クリックし、使用可能なコマンド を表示します。

これらのコマンドは「ページ」メニューまたは「サムネイル A」ウィンドウ左側の アイコンからも選択できます。



削除 - 選択されているページ(複数可)を削除します。

複製 - 選択されているページ(複数可)を複製します。

プレビュー - 選択されているページのフルスクリーンプレビューを表示します(他のサムネイルコマンドを使用した場合、「元に戻す」コマンドで元の状態に戻した後で、選択可能コマンドとして表示されます)。

元に戻す - 使用したサムネイルコマンドを取消します(サムネイルコマンドを使用 した後に、選択可能コマンドとして表示されます)。

 「サムネイル A」ウィンドウ内でページを移動するには、ページ(複数可)を左ク リックし、再度マウスボタンを押しながら選択ページを希望する位置までドラッグ します。

連続する複数ページを選択するには Shift キーを押しながら、不連続の複数ページを 選択するには Ctrl キーを押しながら左クリックしてください。ページを移動する前 に、Shift または Ctrl キーを離してください。

選択ページ(複数可)を既存のページ上に移動すると既存ページを上書きし、既存 ページ横に移動すると選択ページが挿入されます。

アイコンに矢印がついていない場合、選択ページが既存ページを上書きし、アイコ ンに矢印がついている場合は、選択ページが挿入されます。 ページ差替え / 挿入カーソルアイコン



- ジョブの編集終了後、「サムネイルA」タブをクリックします。
   ジョブの編集を行った場合、ジョブを保存するように促されます。
- 5. 新ジョブ名を入力し、「はい」をクリックします。

新ラスタージョブが RIP エリアに現れ、いつでも印刷できます。オリジナルジョブ とは異なる名前で編集後のジョブを保存した場合、オリジナルジョブは RIP エリア に元通りに残っています。

#### ラスターデータジョブのマージ

「サムネイル A」/「サムネイル B」を使用してジョブをマージすると、通常ジョブ 名や利用者名などの属性は「サムネイル A」ジョブのものが適用されます。ただし、 「CMYK シミュレーションプロファイル」や「カラーの表現」など色に関するプリ ントオプションのほとんどは、「サムネイル B」での設定のままです。また、マージ ジョブを RIP / 印刷する場合は、「サムネイル A」に対応したオリジナルの PostScript データのみが RIP の対象となります。



このため、「サムネイルA」と「サムネイルB」の属性が異なる場合、必要であれば 前もって「サムネイルB」の属性を設定し直して、再RIPしておく必要があります。

ラスターデータジョブをマージするには:

- 「サムネイルA」ウィンドウに、編集対象のジョブを表示します。
   非待機ジョブを「サムネイル A」ウィンドウに表示できますが、待機ラスターデー タジョブのみ編集できます。
- 他のソース用ジョブ(ラスターアイコン付き待機ジョブ)を右クリックし「サムネ イルB」を選びます。

「サムネイルB」ウィンドウが開き、ジョブのサムネイルを表示します。このサムネ イルは編集はできませんが、「サムネイルA」の書類にページを追加するときのソー スとして使用できます。

「サムネイルB」ウィンドウで、ページ(複数可)を左クリックして選択し、再度マウスボタンを押しながら「サムネイルA」ウィンドウの希望位置までドラッグします。

連続する複数ページを選択するには Shift キーを押しながら、不連続の複数ページを 選択するには Ctrl キーを押しながら左クリックしてください。ページを移動する前 に、Shift または Ctrl キーを離してください。

「サムネイルA」書類のページを「サムネイルB」書類のページで差替えるには、差 替え希望ページに移動し、矢印のない状態で指を離します。選択ページを挿入する には、単一または複数ページ用カーソルアイコンを「サムネイルA」書類の挿入希 望位置(ページ間または前後)に移動し、矢印が現れたところで指を離します。 ページ差替え / 挿入カーソルアイコン



注意:「サムネイルB」ページを「サムネイルA」の最後のページの後に挿入する には、「サムネイルA」の最後のページの右側で右向き矢印アイコンが表示される位 置までドラッグし、指を離します。「サムネイルB」ページが「サムネイルA」の最 後のページの適切な右位置にドラッグされないと、「サムネイルA」の最後のページ が差替わります。 3-18 印刷ジョブの管理



差し替えや挿入を取消すには、Ctrl + Z キーを押すか、「ページ:元に戻す」を選択します。取消しを続けると最初の状態まで戻ることができます。「元に戻す」を取消 すことはできません。

注意: マージに使用したジョブを削除する前に、まずマージ後のジョブを保存して ください。

- サムネイル表示を閉じるには、対応するサムネイルタブ(「サムネイル A」または 「サムネイル B」)をクリックします。
- 5. ジョブの編集を行った場合、「サムネイル A」を閉じるときにジョブを保存するよう に促されます。
- 6. 新ジョブ名を入力し、「はい」をクリックします。

新ラスタージョブが RIP エリアに現れ、いつでも印刷できます。オリジナルソース ジョブとターゲットジョブも RIP エリア内に元通りに残っています。

## プリント設定の表示と書き換え

オペレータまたはシステム管理者として Command WorkStation にログインした場 合、「キュー」ウィンドウ内のどのジョブでもそのプリント設定を表示し、書き換え られます。「アーカイブ」ウィンドウ内ではジョブのプリント設定の表示のみ可能で す。

「プロパティ」ダイアログボックスを使用すると、単一/複数ジョブのプリント設定 を一つの「プロパティ」ダイアログボックスに表示し書き換えられます。複数ジョ プを選択してプロパティを表示した場合は、ジョブごとの設定変更または全表示 ジョブ設定の一括変更ができます。

- 単一ジョブのプロパティを表示するには、ジョブの行をダブルクリックするか、 ジョブを選択して「ジョブ」メニューまたは右マウスコマンドで「プロパティ」 を選びます。
- 複数ジョブのプロパティを同時に表示する場合は、隣接ジョブの選択には Shift キーを押しながらジョブをクリックし、隣接しないジョブの選択には Ctrl キー を押しながらジョブをクリックします。次に、「ジョブ」メニューまたは右マウ スコマンドで「プロパティ」を選びます。

注意: 元の設定でジョブを保持しておく必要がある場合は、ジョブを複製し複製 ジョブ名を変えてから、設定を書き換えてください(2-24頁「ジョブコマンド」参照)。

単一ジョブの設定を書き換えるには、設定値を右クリックしポップアップ一覧から 変更値を選びます。

注意: プリントオプションの中には、設定変更後に再 RIP の必要なものがあります。これらのオプションにはオプション名の左側に再 RIP 用アイコンがついています。

3-20 印刷ジョブの管理



「プロパティ」ダイアログボックスに表示されているすべてのジョブの設定値を変更 するには、左側のプリントオプション名を右クリックし、ポップアップ一覧から変 更値を選びます。

		Ĥ. PS	B.ps
子 ジョ			
2	用紙サイス	<u>94</u>	<u> </u>
	拡大、縮小	A4 A3	<u> </u>
	給紙トレイ	A5	
-2	用紙の種類	B4	
	両面	レター	-
<u> </u>	音B装y		
き メデ	17		
	排紙	フェイスダウ	フェイスダウ.
- Colo	rWise		
-2	カラーの表現	ブリンタの初	ブリンタの初.
-2	RGBソースプロファイル	プリンタの初	ブリンタの初.
-2	ガンマ	プリンタの初	ブリンタの初.
2	白色点	プリンタの初	ブリンタの初.
-2	RGB色度座標	プリンタの初	ブリンタの初.
-2	RGB色分解	プリンタの初	ブリンタの初.
1			

「プロパティ」ダイアログボックスには、PostScript プリンタドライバにより生成され、Fiery Spark Pro サーバにより解析されたジョブ設定が表示されます。オペレータが設定を書き換えていない場合、ここにはユーザがジョブを Fiery Spark Pro サーバに送るときに設定した値が表示されます。ただし、「拡大、縮小」はこの例外です。

「プロパティ」ダイアログボックスが開いたときは、常に「拡大、縮小」には「100%」 が表示されます。「100%」はユーザが指定した拡大縮小率のままであることを意味 します。たとえば、ユーザが「拡大、縮小」で「40%」を指定した場合、ここでは 「100%」と表示され、ここで「200%」と書き換えると、オリジナルの書類サイズの 80% で印刷されます。

「プロパティ」ダイアログボックスには、「指示」や「ジョブ注釈メモ1」/「ジョブ 注釈メモ2」などのユーザによる情報も表示されます。

- •「指示」欄はオペレータが変更できます。この内容はジョブに付随しており、ジョ ブが印刷後に削除されると、この内容も削除されます。
- 「ジョブ注釈メモ」欄は表示できますが、オペレータによる変更はできません。この内容はユーザの入力通りに「ジョブログ」ウィンドウに表示されます。

注意: プリンタドライバで利用可能なプリント設定の中には「プロパティ」ダイア ログボックスに表示されないものがあります。特定のプリントオプションおよび設 定方法に関する詳細は、『印刷ガイド』の「付録A」を参照してください。

## ファイルとフォントのダウンロード

Command WorkStation からファイルおよび欧文フォントを Fiery Spark Pro サーバに ダウンロードできます。 ダウンロードするファイルやフォントは、 Command WorkStation ハードディスクやネットワーク上のデバイスなど、どこに あっても構いません。ダウンロード対象のファイルやフォントの場所を指定し、項 目を選択してダウンロード一覧に追加します。ファイルに関しては、ダウンロード 時に若干のプリントオプションを書き換えられます。

フォントをダウンロードする場合は、直接接続を使用する必要があります。直接接 続が使用可能でない場合は、Fiery 設定で使用可能に設定してください(『設定管理 ガイド』参照)。

注意: TrueType フォントや和文フォントなどのコンポジットフォントは、 Command WorkStation のダウンロード機能を使用してダウンロードできません。市 販の和文フォントのダウンロードには、フォントに付属のユーティリティを使用し てください。Windows で TrueType フォントを使用する場合、Adobe Type 1 フォント と置換して印刷できます。Windows 95/98/Me の場合は、「フォント」タブをクリック し、フォント置き換えテーブルで適宜設定します。

「サーバ:フォント管理」コマンドを使用すると、上記とは別の方法で Fiery Spark Pro サーバにフォントをダウンロードできます(3-26 頁「Fiery Spark Pro 提供フォン トの管理」参照)。

#### ファイルまたはフォントをダウンロードするには:

「ジョブ:ダウンロード」を選択します。または、Command WorkStation 画面左側の Fiery Spark Pro ユーティリティスライダー開閉用アイコンをクリックして、「Downloader」アイコンをクリックするか、「スプール」状況バー上で右クリックし「ダウンロード」を選択します。

Fiery Downloader が起動します。

ダウンロードするファイルの選択
ファイルの場所 🔄 Z-Print Sample 🔽 🗈 🏢
Talaya ang tang tang tang tang tang tang tang
an - = + > A
調A 「調B
ファイル名(N):
ファイルの種類(工): ずべてのファイル形式
タラフロートするファイル(型):
R2 #
T X X X X X X X X X X X X X X X X X X X
キュー: 印刷キュー マクンロード

2. 「ファイルの種類」でファイル形式を選択します。

ここではデフォルトの「すべてのファイル形式」か、「すべてのファイル」を選ぶこ とができます。「すべてのファイル形式」を選択すると Fiery Downloader でサポート されている形式のファイルすべてが一覧表示されます。「すべてのファイル」を選択 するとすべてのファイルが一覧表示されます。

3. 「キュー」でファイルやフォントのダウンロード先を選択します。

Fiery 設定で現在使用可能に設定されているプリント接続(印刷キュー、待機キュー、 または直接接続)が表示されます。システム管理者が使用可能に設定していないプ リント接続は選択できません。 フォントのダウンロードには「直接接続」を使用する必要があります。

PDF ファイルは印刷する前に常に Fiery Spark Pro サーバにスプールされます。PDF ファイルは印刷キュー(印刷キューが使用できないときは待機キュー)に送ってください。PDF ファイルのダウンロードに直接接続を使用しないでください。

4. ファイル名を選択し、「追加」をクリックします。

備考:「ファイル名」欄には、ファイル名を選択した段階でそのファイル名が表示 されます。

他のドライブやディレクトリに属するファイルをダウンロードする場合は、ダイア ログボックスでドライブ/ディレクトリを選択してください。

隣接したファイルを複数選択する場合は、Shift キーを、隣接していないファイルを 複数選択する場合は、Ctrl キーを押しながら、ファイルをクリックしてください。

「ダウンロードするファイル」欄からファイルを除去する場合は、ファイル名を選択 して「除去」をクリックしてください。

5. ダウンロードするファイルの属性を変更する場合は、ファイル名を選択し、「オプ ション」をクリックします。

PostScript / EPS ファイル用「オプション」ダイアログボックスは、PDF ファイル用のものとは異なります(下図参照)。

オプション × PostScript	オプション ×
部鉄: 1 明るさ 100% 標準 「 EPSファイルルごshowpage を近直加	部鉄©): 印刷範囲 で すべて(A) C ページ指定(g) 「 から(E) 「 まで①
OKキャンセル	OKキャンセル

PostScript オプション

PDF オプション

 ダイアログボックスに次の設定を入力し、「OK」をクリックします。
 ここでのオプション設定は選択されたファイルのみに適用されます。別のファイル には別のオプションを設定するか、デフォルト設定のままにしておけます。

#### 3-25 ファイルとフォントのダウンロード

部数

印刷部数を指定します。

明るさ (PostScript と EPS のみ)

ファイルの印刷が暗すぎたり、明るすぎる場合に「明るさ」設定を変更します。画像を非常に明るくしたい場合は85%を、非常に暗くしたい場合には115%を、あるいはその中間のオプション値を選択してください。

注意: Adobe Photoshop などのアプリケーションでは、トランスファ関数によって 画像の濃度を設定できるものがあります。印刷するファイルにトランスファ関数が 含まれている場合は、この「明るさ」オプションを指定しても有効にはなりません。 トランスファ関数の詳細については、アプリケーションの説明書を参照してください。

EPS ファイルに 'showpage' を追加 (PostScript と EPS のみ)

ほとんどの場合、このオプションを使用する必要はありません。このオプションを 選択しなければ EPS ファイルを印刷できない場合に、選択してください。これは 'showpage' PostScript 言語コマンドを、印刷ジョブの最後に付けるオプションです。 アプリケーションによっては、EPSファイルを生成するときにこの必須 PostScript 言 語コマンドを省略するものがあります。このようなアプリケーションで EPS ファイ ルを印刷するときは、このオプションを選択する必要があります。不必要なときに このオプションを選択すると、ブランクページが1枚余分に出力されます。

Fiery Downloader を使用して EPS ファイルを印刷する際に問題がある場合は、それ を作成したアプリケーションから印刷してください。

ページ指定 (PDF のみ)

印刷するページの範囲を指定します。

7. 「ダウンロード」をクリックします。

ダウンロードを取消すには、「キャンセル」をクリックするか、または Esc キーを押 します。

#### Fiery Spark Pro 提供フォントの管理

Fiery Spark Pro は多数の プリンタフォントを提供しています(『印刷ガイド』参照)。 「フォント管理」(次項参照)または「ダウンロード」コマンドを使用すると、Fiery Spark Pro サーバに他の欧文フォントを追加ダウンロードできます。ネットワーク上 のユーザも Fiery Downloader を使用して Fiery Spark Pro サーバに欧文フォントを追 加ダウンロードできます(『印刷ガイド』参照)。Command WorkStation または Fiery Downloader を使用してフォントをダウンロードする場合は、Fiery 設定で直接接続 を使用可能にしておく必要があります(『設定管理ガイド』参照)。

注意:「フォント管理」コマンドは、システム管理者としてログインしたときのみ 使用可能です。

フォントのダウンロードには特別なアクセス権は必要ありませんが、Fiery Spark Pro サーバからフォントを削除する場合は、システム管理者特権が必要です。Fiery Spark Pro 提供のプリンタフォントはロックされており、削除できません。

現在 Fiery Spark Pro に内蔵されているフォントの一覧を印刷するには、「ファイル: ページの印刷」を選択します。

#### フォントを追加/削除するには:



1. 「サーバ:フォント管理」を選択します。

2. Fiery Spark Pro サーバに追加フォントをダウンロードする場合は、「追加」をクリックし、3-23 頁を参照してフォントをダウンロードします。

 フォントを削除する場合は、一覧からフォント名を選び「削除」をクリックします。
 複数フォントを選択する場合は、Shift キーまたは Ctrl キーを押しながらフォントを 選択してください。

注意: Fiery Spark Pro 提供のプリンタフォントはロックされています。これらのフォ ントはロックアイコンと共に表示され、削除できません。

- 4. フォントー覧の表示内容を更新する場合は、「更新」をクリックします。
- 5. フォントー覧情報を印刷する場合は、「印刷」をクリックし、「印刷」ダイアログボックスで印刷に使用するプリントデバイスを指定し、「OK」をクリックします。

## 複数 Fiery Spark Pro サーバを使用したジョブ管 理

Command WorkStation には同時に5 台まで Fiery Spark Pro サーバを接続することが できます。これにより、複数サーバで処理されているジョブを1ヵ所で管理したり、 サーバ間のジョブの処理量を平均化することができます。

- Command WorkStation から複数のサーバに接続している場合、サーバ選択用タブ をクリックして容易に別のサーバの画面に切り替えられます。
- 「<サーバ>に送信」コマンドがサポートされているサーバ間では、ジョブを転送 できます。

複数台のサーバを表示 / 管理するには:

- 1. 1台目のサーバ用の接続構成を行い、ログインします。
   サーバへの接続構成方法に関しては『使用開始ガイド』を参照してください。
- 2. ブランクのサーバ選択用タブ(2-7 頁参照)をクリックします。
- 3. 次のサーバ用の接続構成を行い、ログインします。

Command WorkStation ウィンドウには、追加されたサーバ用のジョブ一覧が表示されます。このサーバからログアウトするまで、このサーバで処理されるジョブの管理が行えます。

 サーバを切り替えるには、他方のサーバ選択用タブをクリックします。 一旦ログインすれば、ログアウトするまで再ログインの必要はありません。
 連続印刷ジョブによりサーバの処理量が過大な場合、サーバ切替え時に、 Command WorkStation ウィンドウの更新に時間がかかり、更新が完了するまで数秒 間ジョブー覧がブランクになることがあります。

サーバ間でジョブを転送するには:

- 前項を参照して複数台のサーバにログインします。
   注意:サーバ間でジョブを転送する場合、両方のサーバが「<サーバ>に送信」コ マンドをサポートしている必要があります。
- 転送元のサーバの「キュー」ウィンドウで、転送するジョブを選択します(複数可)。
   スプールまたは RIP エリア内の待機ジョブを選んでください。
- 3. 「ジョブ:<サーバ>に送信」コマンドを選択します。

このコマンド名の < サーバ > 部分には、現在 Command WorkStation に接続されてい る他のサーバの名前が表示されます。たとえば、「Astro\_LP8800C に送信」と表示さ れます。「ジョブ」メニューには、Command WorkStation に接続されている他のサー バの数だけ、「<サーバ > に送信」コマンドが表示されます。

ジョブは転送元のサーバから、転送先のサーバの同じエリア(スプールエリアから スプールエリア、RIP エリアから RIP エリア)に送られます。

注意: サーバ間でジョブの転送中は、Command WorkStationの他の機能は使用できません。

4. ジョブが無事に転送されたことを確認後、必要に応じて元のジョブを削除します。

3-29 ジョブのアーカイブ

## ジョブのアーカイブ

Fiery Spark Pro サーバハードディスクまたは Command WorkStation ハードディスク やネットワーク上のデバイスに、待機中のジョブをアーカイブすることができます。

ジョブをアーカイブするには:

- 「キュー」ウィンドウのスプール / RIP エリアでアーカイブ対象の待機ジョブを選択 します。
- ジョブ:アーカイブ」を選択します。またはジョブを右クリックし、「アーカイブ」 を選択します。

アーカイブオプション ディレクトリ	×	1
サーパ内	<b>追加</b> 削除	 アーカイプ先デバイスの追加時にク
アーカイブラスター		
(OK)	キャンセル	

3. ジョブを Fiery Spark Pro サーバハードディスクにアーカイブする場合は「OK」を クリックします。

ジョブを、Command WorkStation ハードディスクやネットワーク上のデバイスな どの外部デバイスにアーカイブする場合は、「追加」をクリックします。

バス選択	X
به ۲ <sup>°</sup> ۲ <sup>°</sup> ۲ <sup>°</sup> ۲ <sup>°</sup>	(CCCR)
בייגעניים אני <u>איר</u> די <u>איר</u> די <u>איר</u> די	
⊕ 📻 3.5 19∮ FD (A:)	キャンセル
□ □ (forp3( □ TechPubs (6:)	
Outlined Art	

4. アーカイブ先のドライブ / フォルダを選び、「OK」をクリックします。

「アーカイブオプション」ダイアログボックスには、アーカイブに使用可能な外部デ バイスが表示されます。

アーカイブオプション	X
ディレクトリ	
サーパ内 D - XTEVR	追加
D.+1-LIII	
□ アーカイ ブラスター	
ОК	キャンセル

 「アーカイブオプション」ダイアログボックスで、必要に応じて「アーカイブラス ター」を選びます。

ラスターデータファイルはサイズが大きいため、アーカイブにかなり時間がかかる 場合があります。時間とディスク容量を節約するには PostScript データのみをアー カイブしてください。

PostScript データジョブにはこのオプションは選択できません。ラスターデータが選択されていて、アーカイブ先が「サーバ内」の場合は、常にこのオプションが選択された状態になります。

 アーカイブボリュームを選択し、「OK」をクリックします。
 外部デバイスにアーカイブされたジョブを読み込むには、「インポート」コマンドを 使用します(次項参照)。

「アーカイブ」ウィンドウでは、アーカイブされた任意のジョブを右クリックし、そのジョブを任意の格納場所に移動 / コピーできます。

注意: ただし、「サーバ内」指定でアーカイブされたジョブは、任意の格納場所に 移動/コピーすることはできません。

#### 3-31 ジョブのアーカイブ

#### 外部デバイスからのアーカイブジョブのインポート

「インポート」コマンドを使用することにより、外部デバイスにアーカイブされてい るジョブを検索し、Command WorkStation に読み込むことができます。インポート するジョブは、現在使用中の Fiery Spark Pro サーバから外部アーカイブされたもの でも、他の Fiery Spark Pro サーバから外部アーカイブされたものでもかまいません。

外部デバイスからアーカイブジョブをインポートするには:

ジョブのインポート		×
ディレクトリ		
C:¥Samples		<u>追加</u> 削除
ジョフ名 Acrobat.pdf		日時 98/10/21
0	( キャン	ノセル

1. 「キュー」ウィンドウで「ジョブ:インポート」を選びます。

- ジョブのインポート」ダイアログボックスで、インポートするジョブを選びます (複数可)。
- 3. 「OK」をクリックします。

インポートされたジョブは「キュー」ウィンドウ内の、アーカイブされたときと同 じエリア (スプールまたは RIP エリア) にインポートされます。

## ジョブログの使用方法

ジョブログには処理 / 印刷されたすべての印刷ジョブの情報が表示されます。この 情報は、日時やその他のジョブ特性を含みます。システム管理者はジョブログの自 動消去 / 印刷や、ジョブログの用紙サイズを設定できます (2-31 頁「ジョブログの 自動印刷と自動消去」参照)。

ジョブログを特定のアプリケーションで表示するには、「環境設定」ダイアログボックスでアプリケーションを指定しておき、「ウィンドウ:ヘルパーアプリケーション 表示」を選択します。

ジョブログを使用するには:

ジョブログ								
結果	書類	利用者	日付	開始時刻	終了時刻	処理時間	サイズ	デバイス
ОК	Configuration	オペレータ	04/07/98	14:39:29	14:40:50	00:00:02	8.62 KB	<u> </u>
ОК	CMYK Reference	オペレータ	04/07/98	14:44:50	14:47:51	00:00:13	1.83 MB	
キャンセル	CMJN page 01	Victoria Thomas	04/07/98	16:17:53	16:37:54	00:00:05	205.49 KB	
キャンセル	CMJN page 01	Victoria Thomas	04/07/98	16:56:16	16:57:28	00:00:05	205.39 KB	
ОК	CMJN page 01	Victoria Thomas	04/07/98	17:02:29	17:04:05	00:00:04	205.37 KB	
ОК	Document1	Eric Lopatin	04/07/98	17:05:53	17:07:19	00:00:16	7.91 MB	
ОК	CMJN page 01	Victoria Thomas	04/07/98	17:14:36	17:15:50	00:00:04	207.96 KB	
ок	Document1	Eric Lopatin	04/07/98	17:29:16	17:30:41	00:00:16	7.91 MB	
ок	Configuration	オペレータ	04/07/98	17:30:33	17:31:38	00:00:03	8.62 KB	
ОК	Document1	Eric Lopatin	04/07/98	17:40:56	17:42:23	00:00:16	7.91 MB	

1. ジョブログを表示するには、「ジョブログ」タブをクリックします。

「ジョブログ」ウィンドウには Fiery Spark Pro で処理されたジョブの一覧が表示され ます。各行にはジョブの処理結果、書類名、利用者名、日付、開始時刻、終了時刻、 処理時間、ファイルサイズ、プリントデバイス名、用紙サイズ、メディア、原本枚 数、カラー印刷枚数、白黒印刷枚数、印刷合計枚数、ジョブ注釈メモ1、およびジョ プ注釈メモ2 が表示されます。

備考:「ジョブログ」ウィンドウですべての項目を表示するには、ウィンドウ底部 のスクロールバーを使用してください。 ユーザが印刷ジョブ送信時に「ジョブ注釈メモ1」/「ジョブ注釈メモ2」欄に情報 を入力した場合、その情報は各欄に表示されます。

「結果」欄ではジョブの結果状況を表示します。

- OK ジョブは正常に処理 / 印刷されました。
- キャンセル 印刷完了前にジョブが取消されました。
- エラージョブの処理 / 印刷中に PostScript エラーが発生しました。
- ジョブログの表示範囲を指定する場合は、「ウィンドウ:フィルタ」を選択します (2-32 頁参照)。
- 3. ジョブログ表示を更新する場合は、「ウィンドウ:最新の情報に更新」を選択します。
- ジョブログの内容を別のアプリケーションで表示する場合は、「環境設定」ダイアロ グボックス(3-4 頁参照)でアプリケーションを指定しておき、「ウィンドウ:ヘル パーアプリケーション表示」を選択します。
- 5. ジョブログ情報を印刷する場合は、「ファイル:ページの印刷」を選択するか、「ウィ ンドウ:印刷」を選択します。

日付範囲を指定している場合は、印刷にもその指定が反映されます。

ジョブログをサーバに印刷する場合は、この印刷ジョブは印刷キューに送られ 「キュー」ウィンドウのスプールエリアにジョブ名「ジョブログ」、利用者名「オペ レータ」で表示されます(システム管理者としてログインした場合も同様です)。

- ジョブログをエクスポートする場合は、「ウィンドウ:エクスポート」を選択します。
   このファイルは、タブ区切りのテキストファイル形式で、スプレッドシート、デー タベース、またはワードプロセッサアプリケーションにインポートできます。日付 範囲を指定している場合は、エクスポートにもその指定が反映されます。
- システム管理者としてログインし、ジョブログを消去する場合は、「サーバ:ジョブ ログの消去」を選択します。

## サーバ管理コマンド

以下の「サーバ」メニューコマンドは、Fiery Spark Pro サーバの動作性 / 構成 / 状態の管理用です。この中にはシステム管理者としてログインした場合にのみ、使用可能なコマンドもあります。

- フォント管理 Fiery Spark Pro サーバフォントの追加 / 削除ができます(3-26 頁参照)。
- キャリブレート ColorWise Pro Tools を起動します (『カラーガイド』参照)。
- ジョブログの消去 ジョブログの全内容を消去します (2-31 頁参照)。
- 再起動 Fiery Spark Proサーバを再起動します。

注意:このコマンドを実行すると、Fiery Spark Pro システムだけでなく Windows 2000 コンピュータも再起動します。

- 初期化 -「キュー」ウィンドウ内のすべてのジョブ、Fiery Spark Pro サーバハード ディスクにアーカイブされているジョブ、アーカイブジョブのインデックス (「アーカイブ」ウィンドウ内)とジョブログを消去します。Fiery バーでの「サー バの初期化」と同一です(1-3頁参照)。
- ログアウト Fiery Spark Pro サーバへの接続を解除します。

## 第4章: Fiery WebTools の概要

本章では Fiery WebTools を紹介し、Fiery WebTools へのアクセス方法を説明します。 詳細は他の章または他の取扱説明書を参照してください。

## **Fiery WebTools**

Fiery WebTools は Fiery Spark Pro に組み込まれています。Fiery 設定で「Web サービス」が使用可能に設定されていて、Fiery Spark Pro サーバへの接続構成が行われている場合、ネットワーク上のさまざまなプラットフォームから Fiery WebTools にアクセス可能です。Fiery Spark Pro サーバにはホームページがあり、リモートユーザはそこで Fiery Spark Pro サーバ機能の表示やジョブの操作などができます。「Web サービス」に関する詳細は『設定管理ガイド』を、接続構成に関する詳細は『使用開始ガイド』を参照してください。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 および Mac OS 対応コンピュータ上で、Java 言語対応 のインターネットブラウザを使用する場合に、Fiery WebTools にアクセスできます。 Fiery WebTools が使用可能なインターネットブラウザに関しては、『使用開始ガイ ド』を参照してください。

### アクセス権

Fiery Spark Pro サーバのシステム管理者は、使用環境に応じたアクセス/コントロールレベルを設定することができます。システム管理者が Fiery WebTools を使用可能にしているか、Fiery WebTools のジョブ管理機能を使用するのにパスワードが必要かどうかにより、リモートユーザのアクセス範囲が決められます。

オペレータ用パスワードを与えられている場合は、Fiery WebSpoolerを使用してジョ ブフローの管理やプリント設定の書き換えが可能です。このパスワードがない場合 でも、ゲストとして Fiery WebSpooler や「状況」ツールでジョブの状況を確認でき ます。Fiery WebTools へのアクセス権に関しては、システム管理者に問い合わせて ください。

# Fiery WebTools の使用方法

Fiery WebTools には Fiery Spark Pro サーバホームページからアクセスできます(Fiery WebTools の各ツールを WebTool と称します )。

WebTool	機能	参照先
状況	RIP / 印刷中のジョブを表示します。	『印刷ガイド』参照
WebSpooler	Fiery Spark Pro サーバ上でスプール / RIP / 印刷中のジョブの表示、操作、 順序換え、再印刷、削除が可能です。 ジョブログの表示、印刷、削除も可 能です。	5-2 頁の「ジョブ表示 と管理」参照

WebTool	機能	参照先
WebLink	有効なインターネット接続の下で、 他の Web ページへのリンクを提供 します。WebLink のリンク先はデ フォルトでは www.i-love-epson.co.jp です。 WebLink のリンク先は変更可能です が、変更にはシステム管理者用パス ワードが必要です(パスワードが設 定されている場合)。	『印刷ガイド』および 『設定管理ガイド』 参照
インストーラ	Fiery Spark Pro サーバ用プリンタ ファイルを Fiery Spark Pro サーバか らリモートワークステーションに直 接ダウンロードできます。	『使用開始ガイド』参照
プリンタ モニタ	トナーの使用状況を表示します。	『印刷ガイド』参照

Fiery WebTools にアクセスするには:

- 1. インターネットブラウザを起動します。
- Fiery Spark Pro サーバの IP アドレスまたは DNS 名を入力します。
   この情報に関してはシステム管理者に問い合わせてください。
   Fiery Spark Pro サーバのホームページが現れます。



WebTool 名をクリックします。
 備考:WebTool 名の上にカーソルを動かすと、そのツール情報が表示されます。

# 第5章: Fiery WebSpooler と Fiery Spooler

Fiery WebSpooler および Mac OS 用 Fiery Spooler は、Command WorkStation のジョブ 管理機能と同様の機能を提供します。Fiery WebSpoolerおよび Mac OS 用 Fiery Spooler は、それらを使用して複数のプラットフォームからインターネット / イントラネッ トを介しジョブの管理が行えます。

注意: Fiery Spooler は Mac OS 対応コンピュータでサポートされています。

- Fiery WebSpooler は、Fiery WebTools 提供の 1ツールで、インターネットブラウザを 使用して Fiery Spark Pro サーバホームページからアクセス可能です(第4章参照)。
- Fiery Spooler は、Fiery Spark Pro ユーザソフトウェア CD からインストールします。
   Fiery Spooler を使用する場合は、Fiery Spark Pro サーバとのネットワーク接続が 必要です。

Fiery WebSpooler および Mac OS 用 Fiery Spooler のインターフェイスは、Command WorkStation と非常に類似しているので、3 つのツールに共通するアイコンやコマンドに関しては、第2章および第3章を参照先にしています。

また、Fiery WebSpooler および Mac OS 用 Fiery Spooler のインターフェイスは、起動 後はほとんど同一です。そのため各ツールの起動の仕方に続く項では、両ツールに 関する説明を記述します。Fiery WebSpooler と記載されている箇所は Mac OS 用 Fiery Spooler にも当てはまります。異なる点は、5-15 頁の「Fiery WebSpooler と Mac OS 用 Fiery Spooler の相違点」で記述します。 5-2 | Fiery WebSpooler & Fiery Spooler

# ジョブ表示と管理

Fiery 設定でパスワードが設定されていない場合は、Fiery WebSpooler にログインするためにパスワードを入力する必要はありません。以下の全機能を使用できます。

- 現在印刷中および Fiery Spark Pro サーバに格納されているジョブの表示
- 印刷ジョブの操作
  - ジョブのプリント設定の書き換え
  - ジョブ処理のキャンセルとジョブの削除
  - ジョブの複製と名前の変更
  - ジョブの RIP とラスターデータのホールド
  - スプール/ RIP エリアでのジョブデータのホールド
  - RIP 済みファイルからのラスターデータの除去
  - ジョブ優先順位の変更
  - ラスターデータジョブの編集とマージ
- ジョブログの表示 / 印刷 / 削除

Fiery サーバでパスワードがセットされると、使用可能な機能はログインレベルに応じて制限されます。「ゲスト」として Fiery WebSpooler にログインすると、ジョブの表示のみが可能です。「オペレータ」としてログインすると、ジョブの表示/操作とジョブログの表示/印刷が可能です。「システム管理者」としてログインすると全機能が使用可能になります。Fiery サーバやパスワードに関しては、『設定管理ガイド』を参照してください。

備考: Fiery WebSpooler のコマンド機能は Command WorkStation のものとほとんど同じです。各コマンドに関する詳細は第2章と第3章を参照してください。

Fiery WebSpooler ウィンドウにアクセスするには:

 Fiery Spark Pro サーバのホームページにアクセスします。
 Fiery Spark Pro サーバのホームページにアクセスする方法に関しては、4-4 頁を参照 してください。



- システム管理者としてログインするには、システム管理者用パスワードを、「オペレータ」としてログインするには、オペレータ用パスワードを入力して、「OK」をクリックします。
   「ゲスト」としてログインするには、「OK」をクリックします。
- 3. Fiery Spark Pro サーバのホームページで「WebSpooler」をクリックします。

ホームページとは別のブラウザウィンドウとして、Fiery WebSpooler ウィンドウが 現れます。

WebSpooler - Fiery Spark						
リファイル 編集 ページ	ウィンドウ ヘルブ					
書類	利用者	時間	日付	部数	デバイス	サイズ
1014	スプール					
						4
						4.6
	RIP					ネイリ
Document1	Sano	18:17:05	04/28/98	1	_	393.30 KB 🚥
Sample2.ps	Saito	17:51:27	04/28/98	1		2.74 MB
k12font.ps	Endo	17:34:25	04/28/98	1		85.32 KB
						<u></u>
						A
30	印刷					<u>ر</u> ب
Document1	Sano	18:11:23	04/28/98	1	_	393.30 КВ 🔺 🚆
Sample2.ps	Saito	17:52:18	04/28/98	1		2.74 MB
k12font.ps	Endo	17:50:25	04/28/98	1		85.32 КВ 🗧
Sample2.ps	Takahashi	17:45:09	04/28/98	1		2.74 MB >
						-
0 25	50 75 100%	1	0	25	50 75	100%
RAM:	256.0	DMB HD:				6.0 GB
警告 : アプレット ウィントウ						

注意: Mac OS 版 Internet Explorer で Fiery WebSpooler を使用するには、この作業を 行う前に Internet Explorer での設定が必要です。次の手順に従って設定を行ってくだ さい。

Mac OS 版 Internet Explorer で Fiery WebSpooler を使用するには:

- 1. Internet Explorer を起動します。
- 「編集」メニューから「初期設定」を選択します。
   「初期設定」ダイアログボックスが表示されます。
- 3. 画面左のスクロールメニューから「Web ブラウザ」内の「Java」を選択します。

#### 5-4 | Fiery WebSpooler & Fiery Spooler

- 画面右下の「セキュリティオプション」欄の「Java クラスファイル以外へのアクセスを制限する」チェックボックスのチェックを外します。
- 5. 「OK」をクリックして「初期設定」ダイアログボックスを閉じます。

これで Fiery WebSpooler を起動できます。

注意: この設定を行う前に Fiery WebTools のメインウィンドウを開いていた場合は、一旦ウィンドウを閉じて、Fiery WebTools を起動してください。

Mac OS 用 Fiery Spooler を起動するには:

- 1. Fiery Spooler のアイコンをダブルクリックします。
- 2. 「セレクタ」ダイアログボックスで Fiery Spark Pro を選択します。

Fiery Spark Pro サーバへの接続に関しては『使用開始ガイド』を参照してください。

 システム管理者としてログインするには、システム管理者用パスワードを、オペレー タとしてログインするには、オペレータ用パスワードを入力して、「OK」をクリッ クします。

「ゲスト」としてログインするには、「OK」をクリックします。

Fiery Spooler のメインウィンドウが現れます。

		Fiery Spooler - F	iery Spark				98
書類	利用者	時間	日付	部数	デバイス	サイズ	4
1011 2 22	ナール						
1100_lynx.ps	mahitot	04:29:22	99/09/13	1		1.1 MB	4
PhotoDuplexA3.ps	aakasaka	18:01:01	99/09/03	1		433.1 MB	2
							*
							1
RIP							18
- DrintAllKaniiFanta na	mohitot	21,52,10	00/00/00		_	1.0 KD	- <u>_</u>
	mannot	21.02.10	33/03/00			1.0 KD	7
							4
				_			- 10
HT HT	刘 禄子	戸橋が節電中です					ΨA
FlamingoQAshowCalib	rlisaw	23:54:22	99/09/12	1	_	9.8 KB	*
FlamingoQAshowUCR	Blisaw	23:54:22	99/09/12	1		9.3 KB	5
flamingoDiagnosticsNT	. lisaw	23:54:21	99/09/12	1		20.6 KB	₽
FlamingoQACRDInfo.p	slisaw	23:54:21	99/09/12	1		8.9 KB	
🗋 Microsoft Word -区切り	yukiot	23:05:58	99/09/12	2		222.4 KB	
	75 100	%	0	25	50 75	100%	- (-
RAM:	2	56.0 MB HD:			, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	5.9 GB	

#### ジョブリストの表示

Fiery WebSpooler を起動するとジョブリストウィンドウが表示されます。ここで Command WorkStation と同様、Fiery Spark Pro サーバとプリンタの機能を表示 / 制御 します。

Fiery WebSpooler のウィンドウは「スプール」「RIP」「印刷」の状況バーにより3 つのセクションに分かれています。Fiery Spark Pro が印刷ジョブを受信すると、Fiery WebSpooler はジョブ名その他の情報を随時表示します。

Fiery WebSpooler ウィンドウの「スプール」、「RIP」、「印刷」の3つのエリアはそれ ぞれジョブ印刷の段階を表しています。ジョブはまず「スプール」に到着し、(ホー ルドされていない限り)「RIP」を経て「印刷」に移動します。

Fiery WebSpooler に表示されるジョブアイコンについては 2-20 頁の「ジョブアイコン」を参照してください。

注意: Fiery WebSpooler では黄プリンタアイコンと白プリンタアイコンの背景は同 一色です。

ジョブリストウィンドウには次のジョブが表示されます。

- スプール済みジョブ「スプール」状況バーの下に表示されるスプール済みジョブ は、Fiery Spark Pro サーバハードディスクに格納されています。ジョブを一時的 にここにホールドしておくことができます。待機ジョブは PostScript 形式で保存 され、アイコンが黄色で表示されます。
- •RIP 済みジョブ「RIP」状況バーの下に表示されているジョブは、印刷準備が完了したものです。ラスター処理(RIP)が済み、順番に Fiery Spark Pro サーバでの印刷を待っている状態です。RIP 済みジョブもホールドすることができます。待機ジョブはアイコンが黄色で表示されます。
- 印刷済みジョブ「印刷」状況バーの下に表示されているジョブは、印刷が終了したものです。印刷済みジョブも Fiery Spark Pro のハードディスクに保存できます。 Fiery Spark Pro サーバに保存される印刷済みジョブの数(1から 99の間の値)は Fiery 設定で指定します。
- エラー エラーの起きたジョブは赤色で表示されます。エラーメッセージを表示するにはジョブの行をダブルクリックします。

「システム管理者」または「オペレータ」としてログインしている場合は、どのエリ アにあるジョブでも、そのジョブを選択して「編集」メニューからコマンドを選択 するか、またはジョブをダブルクリックして、ジョブのプリント設定を書き換えで きます(次項「ジョブオプションとジョブフローの操作」参照)。

注意: ユーザのジョブがFiery WebSpoolerウィンドウのどこにも表示されない場合、 ジョブが既に印刷された可能性があります。この場合はジョブログに表示されます。 ジョブログを表示するには「ウィンドウ:ジョブログ表示」を選択します(5-11頁 「「ジョブログ」の使用方法」参照)。

ジョブがジョブログにも表示されない場合は、「アーカイブ」ウィンドウに移された 可能性があります。Fiery WebSpooler から「アーカイブ」ウィンドウ表示はできま せん。オペレータに問い合わせるか、Command WorkStation での表示で確認してく ださい。

### ジョブオプションとジョブフローの操作

「編集」メニューのコマンドを使用すると、Fiery WebSpooler ウィンドウに表示され るジョブの行き先 や優先順位などの属性を変更できます。



それぞれのコマンドの機能を理解するには、Fiery Spark Pro サーバが PostScript やラ スターデータを取り扱う方法、およびジョブが各処理段階でアクティブまたは待機 状態になる過程を理解する必要があります。Fiery WebSpooler でジョブ操作を始め る前に、第2章を参照してこれらの情報を得てください。Fiery WebSpooler の「編 集」メニューのコマンドは Command WorkStation の「ジョブ」メニューのコマンド とほとんど同じものです。これらのコマンドに関する詳細は、第2章と第3章を参 照してください。

コマンド	選択結果	ラスターデータへの影響		
ジョブの削除	リストからジョブを削除します (複数可)。	削除されます。		
印刷の取消し	印刷中ジョブの印刷処理を取消します。	削除されます。		
RIP の取消し	RIP 中ジョブの RIP 処理を取消します。	影響ありません。		
ジョブの複製	スプールまたは印刷エリア内で、選択した PostScript ジョブ(複数可)の複製を作成 します。 (ジョブのオリジナルに同じジョブ名でリ ファレンスを作成します)。	無効(ラスタージョブにはこのコ マンドは使用できません)		
名前変更	PostScript ファイルがラスターデータを含 むかどうかにかかわらず、PostScript ファ イルのジョブ名を変更します。	新ジョブ名に関連付けられます。		
待機	PostScript データジョブはスプールエリア に、ラスターデータジョブは RIP エリアに ホールドされます。	ラスターデータがジョブに含まれ ている場合、RIP エリアにホールド されます。		
RIP と待機	順番がきたらジョブを RIP し、RIP エリア にホールドします。	RIP エリアにホールドされます。		
印刷	順番がきたらジョブを印刷します(ジョブ にラスターデータがない場合は、まず RIP を行います)。 印刷済みジョブは、ジョブ数が制限数に達 するまで印刷エリアにホールドされます。	他のジョブ用にメモリが必要にな るまで、ラスターデータは一時的 に Fiery Spark Pro サーバ RAM に ホールドされます。		

コマンド	選択結果	ラスターデータへの影響		
印刷と待機	順番にジョブを RIP し、印刷します。 PostScript データのみ選択可能です。 PostScript およびラスターデータは、印刷 後 RIP エリアにホールドされます。	ラスターデータは RIP エリアに ホールドされます(Fiery Spark Pro サーバハードディスクに保存)。		
次に処理	選択したジョブに第一優先順位を与えま す。プロセッサとプリンタが空き次第、他 の RIP / 印刷待ちジョブより先に印刷(ま たは RIP 後印刷)されます。 注意:他に待ちジョブがない場合は、この コマンドは選択できません。	影響しません。 注意:このコマンドはスプールエ リア内の待機中でないジョブにの み使用可能です。		
ラスター除去	ラスターデータを含むジョブからラス ターデータを削除します。PostScript デー タは削除されずそのままです。	削除されます。 注意:RIP エリアのジョブのラス ターデータが除去された場合は、 ジョブはスプールエリアに戻され ます。		
プリント設定の書 き換え	ジョブのプリントオプションの設定を書 き換えます(5-9頁参照)。	新設定が再 RIP を必要とする場 合、ラスターデータは削除後、再 生成されます。 再 RIP が不要な場合は、ラスター データは新プリント設定に基づい て再印刷されます。		
サムネイル Α	選択された待機ラスターデータジョブの サムネイルを「サムネイル A」に表示しま す。ここではさらにラスターデータのフ ルスクリーンプレビュー表示/編集/他の ジョブのラスターデータとのマージが可 能です。 フルスクリーンプレビュー表示/編集/マー ジ対象のラスターデータは待機中のジョ ブに限ります。	ジョブが編集された場合は変更さ れ、ジョブ表示のみの場合は変更 されません。		

5-9 ジョブ表示と管理

コマンド	選択結果	ラスターデータへの影響
サムネイル Β	選択されたラスターデータジョブのサム ネイルを「サムネイルB」に表示します。 ラスターデータの表示、または「サムネイ ルA」ウィンドウのジョブとのマージに使 用します。 マージソース用ラスターデータは待機中 のジョブに限ります。	内容は変わりません。

### プリント設定の書き換え

ジョブのプリント設定を書き換えるには、ジョブの行をダブルクリックするか、ジョ プを選択し「編集:プリント設定の書き換え」を選択します。表示されたダイアロ グボックスで、オプションによってはすべての項目を見るために、スクロールが必 要なものもあります。

 再 RIP 必要を表すアイコン	2	ルト設定の書き換え 「コブ   メディア   ColorWi ジョブ Aps 部数 「 用紙サイズ カスタム用紙サイズ:	se   E	×   和品位   ジョブ注釈メモ    A4 <u>×</u>
	C2	高さ 幅 1000 拡大、縮小 給紙トレイ 用紙の種類 両面	セン 高さ 0.00	デ ≥       100%     ▼       自動用紙選択     ▼       ラリンシの外別規設定     ▼       オフ     ▼
	警	告 ፡ ፻ጋ∿ታኑ ዕለንኑን		0K キャンセル

ここで設定するプリントオプションは、ユーザがアプリケーションから印刷する場合に、「プリント(印刷)」ダイアログボックスで設定するものと同じです。プリントオプションに関する詳細は、『印刷ガイド』を参照してください。

備考:ここで設定するオプションには、設定変更後ジョブを再 RIP する必要のある ものがあります。それらのオプションはオプション名左側に再 RIP 用アイコンが表 示されています。

### サムネイル表示と編集フルスクリーンプレビュー

Command WorkStation と同様、Fiery WebSpooler にも強力なサムネイル編集機能が備わっています。これによりラスターデータのプレビュー表示および編集が可能です。 サムネイル編集機能は2種類のサムネイルウィンドウと複数のページ操作コマンド (「ページ」メニュー内)から成ってます。

下記の目的にサムネイル機能を使用できます。

- 「サムネイル A」ウィンドウでは、現在 RIP 中または任意のラスタージョブを表示 できます。
- 「サムネイル A」ウィンドウでラスターファイルのフルスクリーンプレビューを表示できます。
- 「サムネイルA」および「サムネイルB」ウィンドウを使用して、複数ファイルからラスターデータのマージができます。異なるプラットフォーム上の異なるアプリケーションから印刷されたファイルでもマージが可能です。

サムネイルのマージ機能により、特定アプリケーションを使用する必要はなくなり ます。異なる種類の書類、さらに異なるオペレーティングシステム上で作成された 書類でもマージが可能です。グラフィックプログラムで作成したカラーページを、 ワードプロセッサで作成したテキストページとマージすることもできます。

注意:複数のユーザが Command WorkStation / Fiery WebSpooler を介して Fiery Spark Pro サーバに接続して「サムネイル A」で同一ジョブを開いている場合、あるユー ザがジョブに変更を加えても、他のユーザの「サムネイル A」ウィンドウには変更 が反映されないことがあります。また、その他の予期せぬエラーが発生することが あるので、複数ユーザによる同一ジョブの同時編集 / マージは行わないでください。
#### Fiery WebSpooler のサムネイル機能

Fiery WebSpooler のサムネイル機能は Command WorkStation のものとほとんど同じ です。サムネイルウィンドウの使用方法に関しては第2章/第3章を、ラスター ファイルの編集/マージに関しては 3-12 頁を参照してください。Fiery WebSpooler および Command WorkStation のインターフェイスはほとんど同じですが、Fiery WebSpooler では以下の相違点があります。

- 「サムネイルA」ウィンドウでの、右クリックコマンドは使用できません。ページ をクリックして選択し、「サムネイルA」ウィンドウ内のボタンをクリックする か、「ページ」メニューからコマンドを選択してください。
- ・「サムネイルB」から「サムネイルA」にページを移動する際、ページアイコン/矢印の代りには表示されません。ただし、差替えページ位置を示す青い輪郭線が「サムネイルA」での書類ページの回りに表示されるか、または「サムネイルB」ページが挿入される位置を示す青いバーが「サムネイルA」での書類ページの隣または間に表示されます。
- フルスクリーンビューウィンドウでは、表示の際に状況バーが表示されます (Command WorkStation にはありません)。フルスクリーンビューを閉じる「X」ボ タンは異なる場所にあります。またページを進める矢印 / ページを回転するボタ ンなどはありません。
- Ctrl + Z (「元に戻す」) コマンドなどのショートカットコマンドは使用できません。サムネイルコマンドを取消す(複数可)には、「ページ:元に戻す」を選択してください。

# 「ジョブログ」の使用方法

Fiery WebSpooler では、Fiery Spark Pro サーバで処理 / 印刷されたすべての印刷ジョ ブの情報が表示できます。Fiery Downloader でダウンロードされたジョブも、ジョ ブログに含まれます。

備考:システム管理者としてログインすると、Fiery WebSpooler からジョブログを 削除できます (5-13 頁参照)。ゲストとしてログインした場合、「ジョブログ」ウィ ンドウは表示できません。 ジョブログを表示、更新、印刷、削除するには:

- 1. Fiery WebSpooler で「ウィンドウ:ジョブログの表示」を選択します。
- 2. 「ジョブログの範囲設定」ダイアログボックスで「全部」を選択するか、ジョブログ 表示期間の日付を入力します。

ジョブログの範囲	設定			×
ジョブログの範囲部	定の選択			
● 全部				
C 日付				
年	月	в		ок
1999	3	12	から	
1999	3	12	まで	キャンセル
警告 : アプレット ウィ	ንኑን			

3. 「OK」をクリックします。

注意:「削除」アイコンは、システム管理者としてログインしたときのみ表示され ます。

								更新
WebSpooler - Fie	ry Spark						_ 🗆 🗵	印刷
ファイル 編集	ページ ウインドウ ヘ	ルブ						削除
				8			~	
結果	書類	利用者	日付	開始時間	終了時間	処理時間	サイズ い	
OK	EFI-PRODEFQ	yukiot	00/02/04	14:55:20	14:56:00	00:00:13	22.5	
ОК	不明	不明	00/02/04	15:31:00	15:31:05	00:00:05	4.0 K 🔄 🖃	
ОК	PostScriptResource	不明	00/02/04	15:31:21	15:35:45	00:04:24	4.7 M	
ОК	PostScriptResource	不明	00/02/04	15:36:11	15:36:18	00:00:07	7.5 K	
ОК	設定情報	オペレータ	00/02/04	15:40:05	15:40:19	00:00:03	7.7 K	
ок	テストページ	オペレータ	00/02/04	15:57:32	15:57:56	00:00:13	475	

ジョブログウィンドウは、ジョブごとに以下の情報を表示します。

処理結果、書類名、利用者名、日付、開始時刻、終了時刻、処理時間、ファイルサ イズ、プリントデバイス名、用紙サイズ、メディア、原本枚数、カラー印刷枚数、 白黒印刷枚数、印刷合計枚数、ジョブ注釈メモ 1、およびジョブ注釈メモ 2。 「結果」欄はジョブに関する次の情報を提供します。

OK ジョブは正常に印刷されました。

- エラー ジョブの印刷中に PostScript エラーが起こりました。
- キャンセルジョブは印刷完了前にキャンセルされました。
- 4. ジョブログを更新するには、「更新」アイコンをクリックします。
- 5. ジョブログを印刷するには、「ファイル:ジョブログの印刷」を選択するか、「印刷」 アイコンをクリックします。

「ジョブログ」ウィンドウに表示されている情報が、現在選択されている Fiery Spark Pro に印刷されます。ジョブログを印刷する場合、ジョブ総数が最終行に印刷され ます。

- システム管理者としてログインした場合、ジョブログを消去するには「ファイル: ジョブログの削除」を選択するか、「削除」アイコンをクリックします。
- 7. メイン画面に戻るには、「ウインドウ:ジョブリストの表示」を選択します。

注意: Mac OS 版 Internet Explorer で動作する Fiery WebSpooler からジョブログを保存するには、この作業を行う前に Internet Explorer での設定が必要です。次の手順に従って設定を行ってください。

Mac OS版 Internet Explorer で動作する Fiery WebSpooler でジョブログを保存するには:

- 1. Internet Explorer を起動します。
- 2.「編集」メニューから「初期設定」を選択します。
   「初期設定」ダイアログボックスが表示されます。
- 画面左のスクロールメニューから「受信ファイル」内の「ファイルヘルパー」を選択します。

 ④ 画面下部の「追加」ボタンをクリックします。
 「ファイルヘルパーの編集」ダイアログボックスが表示されます。

ファイル ヘルパーの編集
表示
武明: Fiery Job Log
舷張子: .log
MIME タイプ: TEXT
- <b>ファイル タイブ</b> - アプリケーション: 🄇 参照
ファイル タイブ:TEXT = クリエータ:TEXT
エンコード方法: ⑧ テキスト 🔍 バイナリ データ
<ul> <li>☐ Macintosh ファイル</li> <li>✓ 受信ファイルに適用</li> <li>✓ 送信ファイルに適用</li> </ul>
ダウンロード先
ダウンロード先: ダウンロード フォルダ 🗢
/ <b>処理方法</b> / 2 7 イルに保存する (\$)
(キャンセル) (OK)

「ファイルヘルパーの編集」ダイアログボックスで以下の設定を行います。

•「表示」欄

説明:「 Fiery Job Log 」と入力 拡張子:「.log 」と入力

MIME タイプ:「TEXT」と入力

- 「ファイルタイプ」欄 ファイルタイプ:「TEXT」と入力 クリエータ:「TEXT」と入力 エンコード方法:「テキスト」を選択 Macintoshi ファイル:チェックを外す 受信ファイルに適用:チェックを付ける 選択送信ファイルに適用:チェックを付ける
- 「ダウンロード先」欄
   ダウンロード先:「ダウンロードフォルダ」を選択
- 「処理方法」欄
   処理方法:「ファイルに保存する」を選択

これで Fiery WebSpooler からジョブログを保存できます。

注意: この設定を行う前に Fiery WebTools のメインウィンドウを開いていた場合は、一旦ウィンドウを閉じて、Fiery WebTools を起動してください。

# Fiery WebSpooler と Mac OS 用 Fiery Spooler の相違点

Fiery WebSpooler とMac OS用 Fiery Spooler のインターフェイスはほとんど同じですが、他の Fiery Spark Pro サーバへの接続方法が異なります。

他の Fiery Spark Pro サーバへの接続

Fiery Spooler では次の手順で他の Fiery Spark Pro サーバに接続します。

他の Fiery Spark Pro サーバに接続するには:

- 1. 「ファイル: Fiery を開く」を選択します。
- 2. 「セレクタ」ウィンドウで Fiery Spark Pro を選びます。

Fiery Spark Pro サーバへの接続構成に関しては『使用開始ガイド』を参照してください。

3. 「OK」をクリックします。

Fiery Spooler のメインウィンドウが現れます。

#### ジョブログをファイルとしてエクスポート

Fiery Spoolerからジョブログをファイルとしてエクスポートし、他のアプリケーションでそのファイルを表示できます。

ジョブログをファイルとしてエクスポートするには:

 「ファイル:ジョブログのエクスポート」を選択するか、「ジョブログ」ウィンドウ 上部の「エクスポート」アイコンをクリックします。 5-16 Fiery WebSpooler & Fiery Spooler



「エクスポート」アイコン

- 2. 「ファイル名」欄でジョブログファイルの名前を入力します(デフォルト名: Fiery Job Log.txt)。
- ファイルの保存場所を選び、「保存」をクリックします。
   ジョブロブがタブ区切りのテキストファイルとして、エクスポートされます。
   テキストファイルを取り扱えるアプリケーションでこのファイルを表示できます。

# 付録 A: トラブルシューティング

ここでは Fiery Spark Pro のエラーメッセージと、Fiery Spark Pro または Command WorkStation に問題が発生したときの対処方法を説明します。ここでの指示に従って対処作業を行った後もエラーが解消できない場合は、担当サービスへ連絡してください。

# エラーメッセージ

エラーメッセージは、印刷ジョブ、Fiery Spark Pro、またはプリンタに問題が発生す ると表示されます。エラーによって印刷ジョブが中断されると、Command WorkStation またはFiery WebSpooler / Fiery Spoolerの状況バー、またはFiery バーの メッセージエリアにメッセージが表示されます。以下にエラーメッセージと各エ ラーの対処方法の一覧を表示します。エラーの発生によって中断されたジョブは、 エラー処理中に取消すことができます。

エラー メッセージ	対処方法 / 参照事項
プリンタの準備ができ ていません	プリンタのケーブル接続に問題があります。Fiery Spark Proサーバとプリンタ間のケーブル接続を確認してくだ さい。ケーブルが正しく接続されていない可能性があ ります。ケーブルの接続が回復すると印刷が再開しま す。
ドングルが装着されて いません	Fiery Spark Pro サーバの USB ポートにドングルが装着 されているかどうか確認してください。ドングルが装 着されると印刷が再開します

エラー メッセージ	対処方法 / 参照事項
正しいドングルが装着 されていません	Fiery Spark Pro サーバの USB ポートに Fiery Spark Pro サーバ用ドングルが装着されているかどうか確認して ください。正しいドングルが装着されると印刷が再開 します
ドングルエラー	ドングルに問題があります。ドングルを Fiery Spark Pro サーバから一旦取り外して再度装着した後、Fiery Spark Pro を再起動してください。この作業を行ってもエラー が解消しない場合は、担当サービスに連絡してください。

上記以外のエラーメッセージに関しては、プリンタの取扱説明書を参照してください。

プリンタのエラーメッセージは、エラー解消後も Command WorkStation または Fiery WebSpooler / Fiery Spooler に表示されたままの場合があります。これはエラーが解消 されたことが 伝わるまでに時間がかかるためです。通常、しばらくすると印刷が再開し、表示が更新されます。

# 最適システムパフォーマンスの維持

プリンタには、定期点検や保守、消耗部品の交換などが必要ですが、プリントシス テムの最適なパフォーマンスを維持するために、その他に次の事項を実行すること をおすすめします。

• 不必要な双方向通信を削減する

Fiery Spark Pro サーバとの通信に時間がかかる場合、原因として多数のリモート ユーザがユーティリティや Fiery WebTools を稼働していて、それを頻繁に更新し ていることが考えられます。多数ユーザのユーティリティや Fiery WebTools の使 用は、Fiery Spark Pro サーバの処理速度に大きく影響を及ぼすことがあります。

#### A-3 トラブルシューティング

• ジョブ情報を確認してから、ジョブの印刷時期を決める

プリント設定や用紙の指定が同じジョブをまとめて印刷するようにし、用紙変更 を最小限にとどめてください。また、特別な指示のあるジョブや、特殊用紙を必 要とするジョブの印刷準備をしている間に、通常のジョブを印刷してください。

• 不要な Command WorkStation と Fiery Spark Pro サーバの接続を減らす

複数の Fiery Spark Pro サーバが Command WorkStation に接続されている場合、使用していない Fiery Spark Proの接続を解除した方が通信効率が上がります。

「ディスクが一杯です」メッセージ表示中は印刷を避ける

このメッセージが表示されたら、Command WorkStation の「キュー」ウィンドウ や「アーカイブ」ウィンドウで長期間待機しているジョブや不要と思われるジョ ブを削除してください。ディスクスペースが不足しないよう、古いジョブを定期 的に削除してください。ジョブの日付は、そのジョブが送信された時のものです。

また、最後の手段として Fiery バーでの「サーバの初期化」(1-3 頁)、または Command WorkStation での「初期化」コマンド(2-11 頁)を選ぶこともできます。

# トラブルシューティング

問題が発生した場合、担当サービスに連絡する前にまず以下の対策情報を参照して ください。それでもなお問題が解消しない場合は、状況をメモした上で担当サービ スに連絡してください。

# Command WorkStation がハングアップする

Command WorkStation 画面が更新されない場合は、ログイン / ログアウト用スライ ダーで「ログアウト」をクリックし Command WorkStation を終了します。 Command WorkStation を再起動するか、リモートワークステーションを再起動して ください。

Command WorkStation の画面が更新されない、ジョブが表示されない、マウス操作 が効かない(ジョブ、画面、メニューなどが選択できない、右クリックできない) という現象が発生した場合は、Fiery Spark Pro サーバがダウンしているか、ネット ワークが通信不可能になっています。

#### A-4 トラブルシューティング

Command WorkStation を強制終了するには、まず Ctrl + Alt + Delete / Del キーを押し、 「タスクマネージャ」をクリックして「Command WorkStation」を選択後、「タスク の終了」をクリックしてください。Fiery Spark Pro サーバからネットワークケーブ ルをはずし、再度取り付けてからテストページや設定情報ページの印刷を試みてく ださい。印刷できない場合は、Fiery Spark Pro サーバを立ち上げ直してください。

# Command WorkStation から Fiery Spark Pro サーバ に接続で きない

以前は接続可能だった Fiery Spark Pro サーバに接続できない場合、Command WorkStation で接続構成をし直す必要があります。

- 1. Command WorkStation で「ファイル:終了」を選択します(可能な場合のみ)。
- C:¥Windows」フォルダで「Efinl.ini」ファイルを見つけ、それを他のフォルダに移します。

「Efinl.ini」ファイルの情報量が多くなく再作成が容易な場合(つまり1~2台のサー バ情報のみ)は、このファイルを削除してください。接続構成をし直すと新「Efinl.ini」 ファイルが「C:¥Windows」フォルダ内に作成されます。

「Efinl.ini」ファイルに多くのサーバの情報、または容易に再生できない情報が含まれている場合は、別のフォルダに移した「Efinl.ini」ファイルをバックアップとしてとっておいてください。

3. 設定情報ページ を印刷します。

Fiery Spark Pro サーバへの接続構成を行うときに、このページを使用します。

- 4. Command WorkStation を起動します。
- 5. サーバとの接続を構成するように促してきたら、「OK」をクリックします。 接続構成方法に関しては『使用開始ガイド』を参照してください。
- 依然として Fiery Spark Pro に接続できない場合は、システム管理者が Command WorkStation を再インストールしてください。
   詳細は『使用開始ガイド』 た会昭レスイボナい

詳細は『使用開始ガイド』を参照してください。

# 予期しない印刷結果

障害	原因
保存したラスター ジョブ再印刷時に、 カバーページが印刷 されない	カバーページはオリジナルジョブの送信者と送信時刻 を確認するためのものです。 再印刷されたラスタージョ ブには、カバーページは印刷されません。
ジョブが設定通りに 印刷されない	Mac OS から印刷する際、プリント設定の組合せが効か ない場合があります。この場合は、ジョブをダブルク リックして「プロパティ」で設定を確認してください。 ジョブ情報および相容れないプリント設定に関しては、 『印刷ガイド』を参照してください。ユーザにもこの情 報を伝えておいてください。 「プロパティ」ダイアログボックス内の「部数」にユー ザによる設定が正しく反映されない場合があります。ま た、ジョブ送信後に設定が変えられていない限り、「拡 大、縮小」には「100%」が表示されます。
ジョブが印刷されな い	「印刷」状況バーに印刷エラーが表示されることがあり ます。ジョブが印刷済みキュー(印刷エリア)にある場 合は、PostScript エラーのジョブは 背景が赤色で表示さ れます。このジョブをダブルクリックすると、エラー メッセージが表示されます。
フォントエラー発生	Fiery Spark Pro 内蔵フォント以外のフォントを使用して いる PostScript ファイルをダウンロードしたときに、こ のフォントが正しく印刷されない場合は、ユーザに PostScript ファイルにそのフォントを埋め込むよう、ま たはアプリケーションから直接印刷するように指示し てください。アプリケーションから直接印刷しても、 ユーザ指定フォントが自動的にダウンロードされない 場合は、フォント(欧文フォントの場合のみ)を Fiery Downloader で直接 Fiery Spark Pro にダウンロードしてく ださい。この作業は、直接接続が使用可能になっていれ ば、ユーザでもオペレータでも実行できます。Fiery Downloader に関する詳細は、『印刷ガイド』を参照して ください。

A-6 | トラブルシューティング

# サーバの初期化

キャンセルや削除を行ったにもかかわらず、ジョブがキュー内に存続し印刷を妨害 する場合、最後の手段としてサーバの初期化を行うことができます。サーバの初期 化を行うと、Fiery Spark Pro サーバの全キュー内のジョブ、Fiery Spark Pro サーバ内 の全アーカイブジョブが削除されます。また、ジョブログ、アーカイブジョブのイ ンデックスも消去されます。

ジョブログの内容を記録していない場合は、サーバを初期化する前にジョブログを エクスポートしておいてください。また、可能な場合は、ユーザにサーバの初期化 を行うことを伝え、ユーザがジョブをバックアップしておいて Fiery Spark Pro が使 用可能状態になったときに再送信できるようにしてください。

Fiery バーの右クリックメニュー(1-3 頁参照)または Command WorkStation の「サーバ」メニュー(2-11 頁参照)からサーバの初期化を行えます。

# ユーザがプリントデバイスに接続できない

ユーザがプリントデバイスに接続できない、またはリモートワークステーションか らプリントデバイスが見えない場合、システム管理者は、ネットワーク接続を点検 しサーバの設定を確認する必要があります。設定が変わっていた場合は、Fiery Spark Pro を再構成する必要があるかもしれません。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000 で、Fiery Downloader を使用してプリントデバイスに 接続できない場合は、Fiery Spark Pro サーバへの接続構成をし直してください (『使 用開始ガイド』参照)。

Mac OS 対応コンピュータからプリントデバイスが見えない原因としては、システム管理者がそのプリンタを他のゾーンに移した、ゾーンがない状態からある状態になったなどが考えられます。

#### A-7 トラブルシューティング

『設定管理ガイド』および『使用開始ガイド』の記述に従って、Fiery 設定を行いク ライアントコンピュータとサーバの構成を行った後、Command WorkStation で「ファ イル:ページの印刷」を選択し、テストページを印刷してください。

テストページの印刷ができるにもかかわらず、ネットワーク上のコンピュータから ファイルが印刷できない場合は、システム管理者にネットワーク接続の点検を行う よう依頼してください。

プリントデバイスへの接続もテストページの印刷もできない場合は、プリンタの操 作パネル表示を確認してください。

現象	処置
操作パネルに診断メッ セージまたはエラー メッセージが表示され ている	プリンタの取扱説明書や A-1 頁の「エラーメッセー ジ」の項を参照して正しい措置をとってください。

## Fiery 設定エラーメッセージ

Fiery 設定エラーメッセージに関する詳細は、『設定管理ガイド』を参照してください。

# 索引

#### А

Adobe Photoshop 3-25 トランスファ関数 3-25 С ColorWise Pro Tools コマンド、Fiery バーから 1-3 Command WorkStation xi アーカイブウインドウ 2-27 起動 2-4 サーバにログイン 2-5 紹介 2-1 ジョブの表示 2-15, 5-6 ジョブログウインドウ 2-30 トラブルシューティング A-3, A-4 表示構成 2-7 メインウィンドウ、構成部分 2-7 メニュー 2-9 Command WorkStation コマンド、Fiery バーから 1-3

#### Е

Efinl.ini ファイル A-4 EPS ファイルに showpage を追加 オプ ション 3-25

## F

Fiery Spark 提供フォント、フォント 参 照 Fiery WebSpooler RIP と待機 コマンド 5-7 RIP 済みジョブ 5-5 アクセス 5-2 エラー 5-5 コマンド機能 5-2 ジョブの削除 コマンド 5-7 ジョブの複製 コマンド 5-7 ジョブ(編集)メニュー 5-6 スプール済みジョブ 5-5 ラスターデータ 5-7 ラスター除去 コマンド 5-8 印刷 コマンド 5-7

印刷と待機 コマンド 5-8 印刷済みジョブ 5-5 次に処理 コマンド 5-8 状況バー 5-5 待機 コマンド 5-7 名前変更 コマンド 5-7 Fierv WebTools WebLink 4-3 WebSpooler 4-2 アクセス 4-4 インストーラ 4-3 パスワード 4-2 プリンタモニタ 4-3 ホームページ 4-4 概要 4-1 状況 4-2 Fiery 終了 コマンド 1-4 Fiery バーを表示 コマンド 1-4 Fiery バー コマンド 1-3 状況 1-2 Fiery バーを隠す コマンド 1-4 Fiery 設定 コマンド 1-3

## Ρ

PANTONE 3-6 PDF ファイル、ダウンロード 3-24 PostScript xiii, 2-16 RIP xiii アイコン 2-20 エラー 2-23

#### R

RAM 2-16 合計 2-14 使用状況 2-14 RIP エリア 2-3, 2-22 RIP 済みジョブ 2-3 RIP 中 2-16 ラスタライズ、RIP 中 参照 RIP と待機 コマンド 2-24 RIP 取消し コマンド Fiery バーから 1-3 RIP と待機 コマンド 2-10, 5-7 RIP の取消し コマンド 2-11, 3-9 RIP、定義 xiii RIP 済みジョブ 5-5

## Т

TCP/IP、Command WorkStation 設定の 要件 2-1

#### W

WebLink WebTool、Fiery WebTools 参照 WebLink、Fiery WebTools 参照 WebSpooler、Fiery WebTools 参照 WebTools、Fiery WebTools 参照

#### あ

アーカイブ ジョブをアーカイブウインドウに 移す 2-18 アーカイブ ウインドウ 待機ジョブの削除 A-3 アーカイブ コマンド 2-10, 2-26, 3-29 アーカイブウインドウ 2-27, 5-6 機能 2-28, 2-29 コラム幅の調節 2-29 ジョブアイコン 2-27 ジョブの移動 2-29 ジョブのソート 2-28 ジョブリストのエクスポート 2-29 表示ヘッダの変更 2-28 フィルタ 2-32 アーカイブされたジョブ、フィルタ 2-28 アーカイブログ Command WorkStation から印刷 3-7 アイコン RIP エリア 2-22 アーカイブウインドウ 2-27 印刷エリア 2-23 スプールエリア 2-20 アクセス 制限 xiv レベル 2-6 アクセス特権 2-1, xiv アクティブジョブ 2-19

アニメーション使用 3-5 L١ 印刷 アーカイブログ 3-7 カラー表 3-6 キュー 3-7 サーバ情報ページ 3-5 ジョブログ 3-6 設定情報ページ 3-6 フォント一覧 3-6 印刷/プリント 定義 xiii 印刷エリア 2-3 アイコン 2-23 印刷 コマンド 2-10, 2-12, 2-24, 5-7 印刷ジョブ 行き先指定 2-24, 2-26 キューから削除 2-10 表示 3-10, 3-11 印刷済みキュー 2-23 印刷済みキューに保存するジョブ数 オ プション 2-23 印刷済みジョブ 2-3, 5-5 印刷中 2-16 印刷と待機 コマンド 2-10, 2-25, 5-8 印刷取消しコマンド Fiery バーから 1-3 印刷の取消し コマンド 2-11, 3-9 インストーラ WebTool、Fiery WebTools 参照 インポート コマンド 2-10, 2-26, 3-31 う ウィンドウ選択用タブ 2-7, 2-15 ウィンドウメニューコマンド 2-12 え エクスポート アーカイブジョブリスト 2-29 エクスポート コマンド 2-12 エラー Fiery WebSpooler での表示 5-5 エラーメッセージ A-1 ~ A-2 Fiery 設定 A-7 エラー表示 2-17

お オペレータ用パスワード 2-6, xiv, 4-2

## か

カラー表 Command WorkStation から印刷 3-6 環境設定 コマンド 2-9, 3-4 環境設定 メニューコマンド 3-5

#### き

キャリプレート コマンド 2-11, 3-34 キュー 2-16 Command WorkStation から印刷 3-7 キューウインドウ 2-16 ウインドウエリアの伸縮 2-18 スプール中ジョブ 2-16 待機ジョプの削除 A-3

#### け

警告、ディスクが一杯です A-3 ゲストアクセス xv, 2-2, 2-6, 5-2

#### さ

サーバ Command WorkStation から接続 2-12, 3-27 接続構成 2-4 複数サーバの使用 3-27 別のサーバ選択 2-12, 3-27 初期化 A-6 サーバ メニューコマンド 2-11 サーバ間でのジョブ処理量平均化 3-27 サーバ情報用スライダー 2-13 サーバ選択用タブ 2-12 サーバ内蔵フォント、フォント 参照 サーバに送信 コマンド 2-10, 2-26, 3-27 サーバにログイン 2-5 サーバの切り替え 2-12, 3-28 サーバの初期化 コマンド Fiery バーから 1-3 アーカイブされたジョブを消去 2-27 サーバへのアクセスの制限 xiv サーバへの接続、構成 2-4 再起動 コマンド 2-11, 3-34

最新の情報に更新 コマンド 2-12 削除 コマンド 2-10, 2-24, 3-14 サムネイルA ウインドウ 3-12 ページ コマンド 3-13 ページ表示 3-10 編集オプション 3-13 サムネイル A コマンド 5-8 サムネイル B ウインドウ 3-12 サムネイル B コマンド 5-9 サムネイル機能 削除 コマンド 3-14 ジョブの表示 3-10, 3-11 ジョブの編集 3-13 ジョブのマージ 3-15, 3-16 元に戻す コマンド 3-14 複製 コマンド 3-14 プレビュー コマンド 3-14

#### し

指示欄 3-3, 3-21 システム管理者用パスワード xiv, 2-1, 2-6 システム情報 2-13 システムパフォーマンス A-2 終了 コマンド 2-9 状況 WebTool、Fiery WebTools 参照 状況バー 2-2, 2-17 **RIP 5-5** 印刷 5-5 エラー表示 2-17 スプール 5-5 状況、Fiery バー 1-2 初期化 コマンド 2-11, 3-34 アーカイブされたジョブを消去 2-27 ジョブ アーカイブに移す 2-18 アクティブ 2-19 上書き 3-19 エリア 2-3 再印刷 2-23 削除 2-24

ジョブフロー図 2-18 制限数 2-23 待機 2-19 取消し 3-9 表示順 2-19 プリントオプションの書き換え 5-9 プリント設定の書き換え 3-19 プレビュー 3-14 フロー 2-16 ワークフロー例 3-7 環境 xiv 元に戻す 3-14 定義 xiii ジョブ メニューコマンド 2-10 ジョブアイコン 2-20 RIP エリア 2-22 アーカイブウインドウ 2-27 印刷エリア 2-23 スプールエリア 2-20 ジョブチケット情報 2-15,3-3 表示変更 2-15, 3-3 ジョブ注釈メモ欄 3-3, 3-21 ジョブのソート 2-28 ジョブの表示 3-10 ジョブの削除 コマンド、Fiery WebSpooler 5-7 ジョブの複製 コマンド、Fiery WebSpooler 5-7 ジョブログ 2-30 Command WorkStation から印刷 3-6 Fiery WebSpooler で表示 5-11 削除 2-31 自動印刷 2-31 消去 2-31 使用方法 3-32 日付の範囲指定 2-30 表示の更新 2-31 ファイルにエクスポート 2-31, 3-33 印刷済みジョブの表示 5-5 ジョブログの消去 2-31 ジョブログの消去 コマンド 2-11 ジョブ(編集)メニューコマンド 5-6

す スプールエリア 2-3 ジョブアイコン 2-20 スプール済みジョブ 2-3 Fiery WebSpooler での表示 5-5 アイコン 2-20 スプール、定義 xiii スライダー 2-13 Ħ セキュリティレベル xiv 設定情報ページ A-4 Command WorkStation から印刷 3-6 そ ソースジョブ 3-12 た ターゲットジョブ 3-12 待機 コマンド 2-10, 2-24, 5-7 待機ジョブ 2-19, 2-22 ダウンロード コマンド 2-10, 3-26 ダウンロード、ファイルとフォント 3-22 ち 直接接続 2-22, 3-26, A-5  $\supset$ 次に処理 コマンド 2-10, 2-25, 5-8 τ テストページ Command WorkStation から印刷 3-6 印刷の問題 A-7 デフォルト設定に復帰 コマンド 2-12 と トラブルシューティング Command WorkStation ハングアップ A-3 Command WorkStation、サーバに接 続できない A-4 ガイドライン A-3 ユーザがプリンタに接続できない

# A-6

予期しない印刷結果 A-5 な 名前変更 コマンド 2-10, 2-24, 5-7 は バージョン情報 1-4 ハードディスク使用状況 2-14 パスワード Command WorkStationへのアクセス 2-1 オペレータ 2-6.4-2 システム管理者 2-6 パフォーマンス、最適化 A-2 ī٤١ ファイル メニューコマンド 2-9 フィルタコマンド 2-12 アーカイブウインドウ 2-28 フォント Adobe タイプ1 3-22 管理 3-26 ~ 3-27 サーバ内蔵のプリンタフォント 3-27 ダウンロード 3-22, 3-26, A-5 追加 / 削除 3-26 フォント一覧の印刷 3-6 フォント管理 コマンド 2-11, 3-26, 3-34 複数サーバ ジョブ管理 3-27 ジョブ処理量の平均化 3-27 複製 コマンド 2-10, 2-24, 3-14 プリンタアイコン 2-20 ジョブ メニューコマンド 2-10 プリンタフォント、フォント 参照 プリンタ設定、カスタマイズ 2-10 プリント設定の書き換え コマンド 5-8 フルスクリーンプレビュー 2-39 プレビュー コマンド 3-14 プロパティ コマンド 2-10, 2-25, 3-19 プロパティ ダイアログボックス 3-19 ジョブ注釈メモ 欄 3-21

#### $\overline{}$

ページの印刷 コマンド 2-9, 3-7 Command WorkStation 3-5 ヘッダ キュー ウィンドウ 2-15, 3-3 ジョブログウインドウ 2-30 ヘルパーアプリケーション表示 コマン ド 2-12, 3-5 ヘルプ メニューコマンド 2-12 E ポップアップヘルプ使用 3-5 ボリューム欄、アーカイブウインドウ 内 2-28 み 右マウスコマンド 2-24, 2-26 韦 元に戻す サムネイル表示での編集 3-18 元に戻す コマンド 3-14 元に戻す、サムネイル表示での編集 2-38 問題、トラブルシューティング 参照 6 ラスター アイコン 2-20 イメージ 2-16 データ 2-22, 5-7 ラスター除去 コマンド 2-10, 2-25 ラスタージョブ 表示 3-10 ラスターデータジョブ 編集 3-12 編集済みジョブの保存 3-15, 3-18 ラスター除去 コマンド 5-8 3 ログアウト コマンド 2-11, 3-34 ログイン / ログアウト用スライダー

#### わ

ワークフロー例 3-7

2-5, 2-14, A-3